B5WY-0051-02

Printia LASER

FUJITSU PERSONAL COMPUTER PRINTER

XL-1200E ページプリンタ

取扱説明書

FUJITSU

製品を安全に使用していただくために

●本書の取り扱いについて

本書には、お買い上げいただいた製品を安全に正しく使用するための重要なことがらが記載されています。製品を使用する前に本書をよくお読みください。
特に、本書に記載されている「安全上のご注意」は必ずお読みいただき、内容をよく理解したうえで製品を使用してください。
本書はお読みになった後も製品の使用中いつでも参照できるように、大切に保管してください。富士通は、お客様の生命、身体や財産に被害を及ぼすことなく安全に使っていただくために細心の注意を払っています。当製品を使用する際は、本書の説明に従ってください。

Microsoft、Windows、MS-DOS、Windows NT は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。
IBM PC/AT 互換機は、米国 International Business Machines Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。

製品を安全に使用していただくために

● VCCI 適合基準について

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会(VCCI)の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。
取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

●電源の瞬時低下について

この装置は、落雷等による電源の瞬時電圧低下に対し不都合が生じることがあります。
電源の瞬時電圧低下対策としては、交流無停電電源装置等を使用されることをお薦めします。
（社団法人日本電子工業振興協会のパーソナルコンピュータの瞬時電圧低下対策ガイドラインに基づく表示）

●漏洩電流自主規制について

この装置は、社団法人 日本電子工業振興協会のパソコン業界基準(PC-11-1988)に適合しております。

●電源高調波について

この装置は、高調波抑制対策ガイドラインに適合しております。

●国際エネルギースタープログラムについて

この装置は、国際エネルギースタープログラムの基準に適合しております。
国際エネルギースタープログラムはコンピュータをはじめとしたオフィス機器の省エネルギー化促進のための国際的なプログラムです。このプログラムはエネルギー消費を効率的に抑えるための機能を備えた製品の開発、普及の促進を目的としたもので、事業者の自主判断により参加することができる任意制度となっています。
対象となる製品はコンピュータ、ディスプレイ、プリンタ、ファクシミリおよび複写機等のオフィス機器で、それぞれの基準ならびにマーク（ロゴ）は参加各国の間で統一されています。

●本製品のハイセイフティ用途での使用について

本製品は、一般事務用、パーソナル用、家庭用などの一般的用途を想定したものであり、ハイセイフティ用途での使用を想定して設計・製造されたものではありません。
お客様は、当該ハイセイフティ用途に要する安全性を確保する措置を施すことなく、本製品を使用しないでください。
ハイセイフティ用途とは、以下の例のような、極めて高度な安全性が要求され、仮に当該安全性が確保されない場合、直接生命・身体に対する重大な危険性を伴う用途をいいます。
・原子力核制御、航空機飛行制御、航空交通管制、大量輸送運行制御、生命維持、兵器発射制御など

はじめに

このたびは、弊社のページプリンタ XL-1200E をお買い求めいただきまして、誠にありがとうございます。
本書では、プリンタの設置や取り扱いに関することがらと、プリンタドライバなどのソフトウェアに関することがらについて説明しています。
本書にしたがって正しい取り扱いをし、本プリンタを有効にご利用ください。

2001 年 4 月

●本文中の略語について

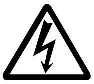
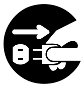
Microsoft® Windows® Millennium Edition は、本文中では Windows Me と表記しています。
Microsoft® Windows® 98 operating system は、本文中では Windows 98 と表記しています。
Microsoft® Windows® 95 operating system は、本文中では Windows 95 と表記しています。
Microsoft® Windows® operating system Version 3.1 は、本文中ではWindows 3.1 と表記しています。
Microsoft® Windows® 2000 Professional および Microsoft® Windows® 2000 Server は、本文中では Windows 2000 と表記しています。
Microsoft® Windows NT® Workstation operating system Version 4.0およびMicrosoft® Windows NT® Server operating system Version 4.0 は、本文中では Windows NT4.0 と表記しています。
Microsoft® Windows NT® Workstation operating system Version 3.51 および Microsoft® Windows NT® Server operating system Version 3.51 は、本文中では Windows NT3.51 と表記しています。
Microsoft® Windows NT® Workstation operating system Version 3.5およびMicrosoft® Windows NT® Server operating system Version 3.5 は、本文中では Windows NT3.5 と表記しています。

はじめに

●警告表示マークについて

本書では、製品を安全にかつ正しくお使いいただき、あなたや他の人々に加えられる恐れのある危害や損害を未然に防止するために、次のような表示をしています。

⚠警告	⚠注意
この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が損害を負う可能性が想定される内容、および物的損害のみが想定される内容を示しています。

絵記号の例とその意味	
	△で示した記号は、警告、注意を促す事項があることを告げるものです。 記号の中には、具体的な警告内容を表す絵（左図の場合は感電注意）が描かれています。
	⃠で示した記号は、してはいけない行為（禁止行為）であることを告げるものです。 記号の中やその脇には、具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。
	●で示した記号は、必ず従っていただく内容であることを告げるものです。 記号の中には、具体的な指示内容（左図の場合は電源プラグをコンセントから抜いてください）が描かれています。

安全上のご注意

⚠ 警告

プリンタ設置および移動時のご注意

プリンタの上に「花びん、植木鉢、コップ」などの水の入った容器、金属物を置かないでください。
感電・火災・故障の原因となります。

湿気・ほこり・油煙の多い場所、通気性の悪い場所、火気のある場所に置かないでください。
感電・火災・故障の原因となります。

電源プラグは、交流 100V、15A 専用コンセント以外には差し込まないでください。たこ足配線をしないでください。
感電・火災の原因となります。本定格電源は 100V、6A となっています。

添付の電源コード以外は使用しないでください。
感電・火災の原因となります。

ストーブやヒーターなどの発熱器具に近い場所、アルコール、シンナー、ガソリンなど揮発性可燃物やカーテンなどの燃えやすいものの近くにはプリンタを設置しないでください。
火災の原因となります。

延長コードは、定格 (125V、15A)未満のものは使用しないでください。特に容量不足の延長コードは絶対に使用しないでください。
異常な発熱や火災の原因となります。

安全上のご注意



次のようなところには、絶対にアース線を接続しないでください。
・ガス管（引火や爆発の危険があります。）
・電話専用アース線および避雷針（落雷時に大量の電流が流れる場合があり危険です。）
・水道管や蛇口（配管の途中がプラスチックになっている場合はアースの役目を果たしません。）

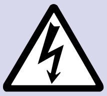
梱包に使用しているビニール袋はお子さまが口に入れたり、かぶって遊んだりしないよう、ご注意ください。
窒息の原因となります。



風呂場、シャワー室などの水場に置かないでください。
感電・火災の原因となります。



電源プラグから出ている緑色のアース線を、必ず次のいずれかに取り付けてください。アース接続できない場合は、ご購入元または『ハードウェア修理相談センター』（98 ページ）（98 ページ）にご連絡ください。
・電源コンセントのアース線
・銅片などを 650mm 以上地中に埋めたもの
・接地工事（第３種）を行っている接地端子
アース接続しないで使用すると、万一漏電した場合に、火災・感電の原因となります。



プリンタケーブルおよびオプション製品の取り付け／取り外しを行うときは、必ずプリンタ本体および接続されている機器の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いた後に行ってください。
感電の原因となります。

オプション機器を接続する場合には、当社推奨品以外の機器は接続しないでください。
火災や感電または故障の原因となります。



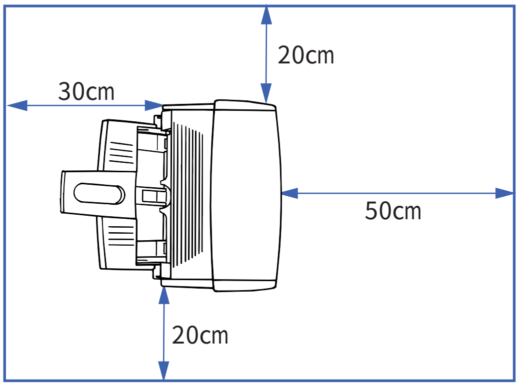
近くで雷が起きたときは、電源コードをコンセントから抜いて、雷がおさまるのを待ってください。
入れたままにしておきますと、雷によっては機器を破壊し、火災の原因となります。

⚠注意

直射日光の当たる場所や炎天下の車内など､高温になる場所に長時間放置しないでください。
高温によりカバーなどが加熱、変形、溶解する原因となったり、プリンタ内部が高温となり、火災・故障の原因となることがあります。

プリンタに空調などの風が直接当たらない場所に設置してください。
風が当たると､プリンタ内部の空気の流れが変わり､火災･故障の原因となることがあります。

プリンタの操作および消耗品類の交換、日常の点検など、プリンタを正しく使用し、プリンタの性能を維持するために、下図の設置スペースを確保してください。
また、設置時は、プリンタの足全体が乗る大きさの平らな場所に置いてください。
スペースが確保されないと、熱がこもり、火災・故障の原因となることがあります。



プリンタの上に重いものを置かないでください。また、衝撃を与えないでください。
バランスが崩れて倒れたり、落下してけがの原因となることがあります。

安全上のご注意

振動の激しい場所や傾いた場所など、不安定な場所に置かないでください。
落ちたり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。

プリンタは、プリンタの重量に耐えられる丈夫で水平な場所に設置してください。
プリンタの転倒などによりけがの原因となることがあります。

プリンタを移動する場合は、プリンタを傾けないでください。
プリンタの転倒などによりけがの原因となることがあります。

プリンタを移動する場合は、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。また、接続ケーブルなどもはずしてください。
作業は足元に十分注意して行ってください。
電源コードが傷つき、火災や感電の原因となったり、本プリンタが倒れたりしてけがの原因となることがあります。

プリンタ使用時のご注意

⚠ 警告

プリンタに水をかけたり、濡らしたりしないでください。
火災・感電・故障の原因となります。

開口部(通風口など)から内部に金属類や燃えやすいものなどの異物を差し込んだり、落とし込んだりしないでください。
火災・感電・故障の原因となります。

電源コードを傷つけたり、加工しないでください。
重いものを載せたり、引っぱったり、無理に曲げたり、ねじったり、加熱したりすると、電源コードを傷め、火災や感電の原因となります。

電源コードや電源プラグが傷んだり、コンセントの差し込み口がゆるいときは使用しないでください。
そのまま使用しますと、火災・感電の原因となります。修理はご購入元または『ハードウェア修理相談センター』(98 ページ)にご連絡ください。

異常音がするなどの故障状態で使用しないでください。
故障の修理は、ご購入元または『ハードウェア修理相談センター』（98ページ）にご連絡ください。
そのまま使用すると、感電・火災の原因となります。

プリンタの近くで強燃性スプレーを使用しないでください。
火災の原因となります。

濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。
感電の原因となります。

ネジで固定されているカバーやパネルなどは、絶対に開けないでください。内部の点検、修理はご購入元または『ハードウェア修理相談センター』（98ページ）にご連絡ください。
内部には電圧の高い部分があり、感電の原因となります。

プリンタを改造したり、部品を変更して使用しないでください。
感電・火災の原因となります。

電源プラグの金属部、およびその周辺にほこりが付着している場合は、乾いた布でよく拭いてください。
そのまま使用すると、火災の原因となります。

取り外したコネクタカバー等は、小さなお子さまが誤って飲むことがないように、小さなお子さまの手の届かないところに置いてください。
万一、飲み込んだ場合は、直ちに医師と相談してください。

万一、プリンタから発熱や煙、異臭や異音などが発生した場合は、ただちにプリンタ本体の電源スイッチを切り、その後必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。煙が消えるのを確認して、ご購入元または『ハードウェア修理相談センター』（98ページ）に修理をご依頼ください。お客さま自身による修理は危険ですから絶対におやめください。
異常状態のまま使用すると、感電・火災の原因となります。

安全上のご注意

万一、異物（金属片、水、液体など）が内部に入った場合は、ただちにプリンタ本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。その後、ご購入元または『ハードウェア修理相談センター』（98 ページ）にご連絡ください。
そのまま使用すると、感電・火災の原因となります。

プリンタを落としたり、カバーなどを破損した場合は、プリンタ本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。その後、ご購入元または『ハードウェア修理相談センター』（98 ページ）にご連絡ください。
そのまま使用すると、感電・火災の原因となります。

⚠ 注 意

電源プラグをコンセントから抜くときは、必ず電源プラグを持って抜いてください。
電源コードを引っぱると電源コードの芯線が露出したり、断線したりして、感電・火災の原因となることがあります。

使用中のプリンタは布などでおおったり、包んだりしないでください。
熱がこもり、火災・故障の原因となることがあります。

プリンタの電源を入れたままでコンセントからプラグを抜き差ししないでください。
プラグが変形し、火災の原因となることがあります。

プリンタの内部には磁気を帯びたマグネット類を近づけないでください。
プリンタが動作状態になる場合があり、けがの原因となることがあります。

電源プラグはコンセントの奥まで確実に差し込んでください。
火災・故障の原因となることがあります。

つまった用紙を取り除くときは、プリンタ内部に紙片が残らないようすべて取り除いてください。
紙片が残ったままになっていると火災の原因となることがあります。なお、定着器やローラ部に用紙が巻き付いているときは無理にとらないで、直ちに電源を切り、ご購入元または『ハードウェア修理相談センター』（98 ページ）にご連絡ください。

つまった用紙を取り除いたり故障処置を行うときは、鋭利部に触れないよう注意してください。
けがの原因となることがあります。

つまった用紙を取り除いたり故障処置を行うときは、ネクタイやネックレスなどがプリンタ内部に巻き込まれないように注意してください。
けがの原因となることがあります。

１カ月に一度はプリンタの電源を切り、次のような点検をしてください。
・電源プラグが電源コンセントにしっかり差しこまれていますか。
・電源プラグに異常な発熱およびサビ、曲がりなどがありませんか。
・電源プラグやコンセントに細かいホコリがついていませんか。
・電源コードにき裂や擦り傷などはありませんか。
・アース線は取り付けられていますか。
なお、異常がある場合はご購入元または『ハードウェア修理相談センター』(98 ページ) までご連絡ください。

長期間、プリンタを使用しないときは、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。
感電・火災の原因となることがあります。

プリンタの清掃および保守、故障の処置を行う場合は、電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。
電源スイッチを切らずにプリンタの清掃や保守を行うと、感電の原因となることがあります。

用紙排出部のローラーが作動しているとき作動部には触れないでください。
指をはさみけがをする原因となることがあります。

プリンタの清掃および保守、故障の処置を行う場合には、定着器周辺は、電源スイッチを切ってから１時間は手を触れないでください。
高温になっているため、やけどの原因となることがあります。

プロセスカートリッジ / トナーカートリッジの取り扱い上のご注意

⚠ 警告

プロセスカートリッジやトナーカートリッジを火中に投入しないでください。
火中に投入すると、トナー粉がはねて、やけどの原因となります。
使用済みの プロセスカートリッジやトナーカートリッジは、包装箱やビニール袋に入れ、不燃物として廃棄してください。

トナーは目や口に入らないように注意してください。
プロセスカートリッジやトナーカートリッジの交換時などに、トナーが手に付いた場合は速やかに洗い落としてください。万一、飲み込んだ場合は、直ちに医師と相談してください。

プロセスカートリッジやトナーカートリッジを保管する場合は、小さなお子さまがトナーを誤って飲むことがないように、小さいお子さまの手の届かないところに置いてください。
万一、飲み込んだ場合は、直ちに医師と相談してください。

⚠ 注意

プロセスカートリッジ・トナーカートリッジは純正品を使用してください。
純正品以外のプロセスカートリッジまたはトナーカートリッジを使用すると、感光ドラムやプリンタ本体に障害が発生することがあります。

目　次

目　次

●本書での説明のマーク

注　プリンタを正しく動作させるための注意や制限です。誤った操作をしないため、必ずお読みください。

MEMO　プリンタを使用するときに知っておくと便利なことや参考になることです。お読みになることをお勧めします。

メモ用のページです。

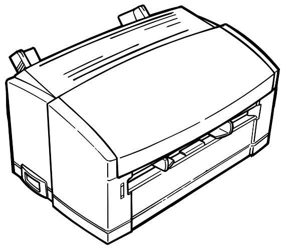
1. お使いになる前に

製品の確認

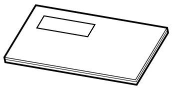
梱包箱から取り出して、製品が揃っていることを確認してください。万一不良品や不足品がありましたら、ご購入元にご連絡ください。

注 **本プリンタには、パソコン本体とのプリンタ接続ケーブルは添付されていません。パソコン本体のケーブルか、別売りのプリンタ接続ケーブルをお使いください。**

1. プリンタ本体



2. 保証書（梱包箱に添付）

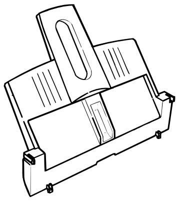


添付品パック

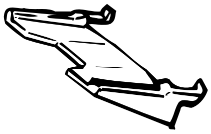
3.取扱説明書（本書）



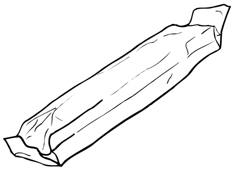
4.用紙フィーダ



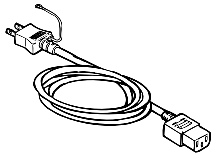
5.ハガキガイド



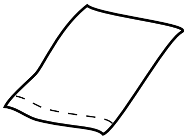
6.トナーカートリッジ



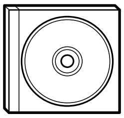
7.電源コード



8.ポリエチレン袋（黒）



9.プリンタソフトウェア CD-ROM



- プリンタ本体には、プロセスカートリッジがセットされています。
- ポリエチレン袋（黒）および梱包箱、緩衝材は、プリンタを輸送するときに必要です。捨てずに保管してください。

XL-1200E の特長

小型・軽量、低ランニングコスト、省電力、オゾンフリー

8 枚 / 分（A4 コピーモード）クラスでは最小の省スペース設計で、デスクサイドにゆとりを持って置けるコンパクトなサイズです。また、交換時期の異なるトナーとプロセスカートリッジを別ユニットにすることで廃棄物を最小限に抑えるなど、地球環境の保全に十分配慮しています。その他、待機時の電力消費を抑える節電モードやオゾンフリープロセスなど、使う人に優しい設計になっています。

すべての操作をパソコンから

面倒なプリンタの操作パネルでの設定などは一切ありません。すべての設定はパソコンから行います。

8 枚 / 分（A4）、600 × 1200dpi の高品位印刷

オフィスでもっとも需要の高い A4 サイズを毎分 8 枚（コピーモード時 / ハガキ，OHP シート，ラベル紙を除く）と、快適なスピードで印刷します。しかも解像度は 600 × 1200dpi で高品位出力を実現。文字も図形も美しく鮮明です。

WYSIWYG をお手元に。Windows Me/98/95/NT4.0/2000 日本語版環境に対応

各 OS のプリンタドライバを標準添付し、Windows 搭載のパソコンに幅広く対応しています。
また、WYSIWYG*1 も実現しました。

多彩な給紙機能

世界最小クラスの大きさながら、用紙フィーダによる 100 枚（55Kg 紙）の連続給紙を標準サポートしています。A4 ～ A5 まで幅広い用紙サイズに対応するユニバーサル方式を採用し、手差し給紙による A6、フリーサイズ、ハガキ、OHP シート、ラベル紙への印刷も可能になっています。

USB インタフェースを標準装備

パラレル、USB*2 のインタフェースを装備。

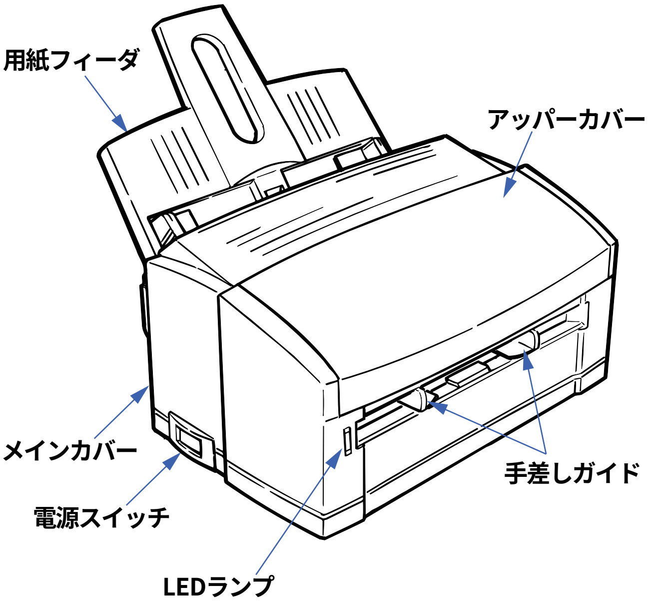
自動低解像度印刷

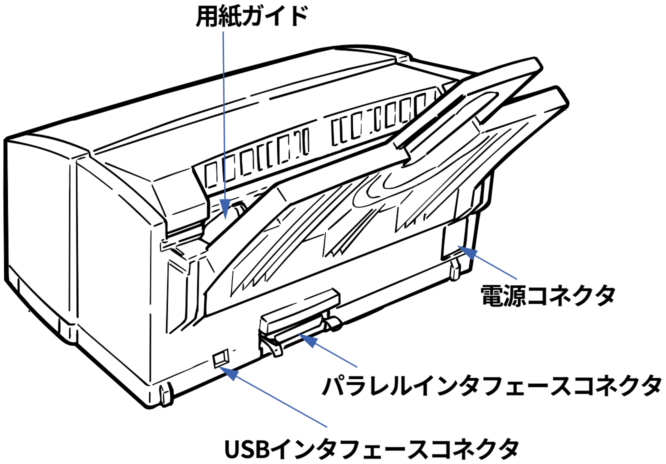
プリンタ標準搭載のメモリでは印刷できない複雑なファイルも、オートマティックフォールダウン機能により自動的にプリンタの解像度を下げて印刷します。

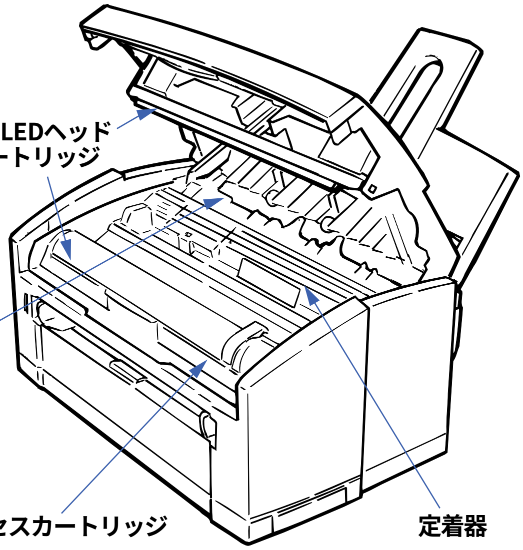
***1 WYSIWYG**　What You See Is What You Get の略。コンピュータの画面上で作成した通りの印刷出力を手にすることができるというデスクトップパブリッシングの基本要素。

***2 USB**　Universal Serial Bus の略。マウスやプリンタなど周辺機器のパソコンへの接続方式を共通にする規格。

プリンタ各部の名前


用紙フィーダ
アッパーカバー
メインカバー
電源スイッチ
LEDランプ
手差しガイド


用紙ガイド
電源コネクタ
パラレルインタフェースコネクタ
USBインタフェースコネクタ


LEDヘッド
トナーカートリッジ
排紙スタッカ
プロセスカートリッジ
定着器

2. プリンタを設置します

設置条件

動作環境

- 次の温度、湿度を満足する場所に設置してください。

周囲温度	10～32℃
周囲湿度	20～80%RH（相対湿度）

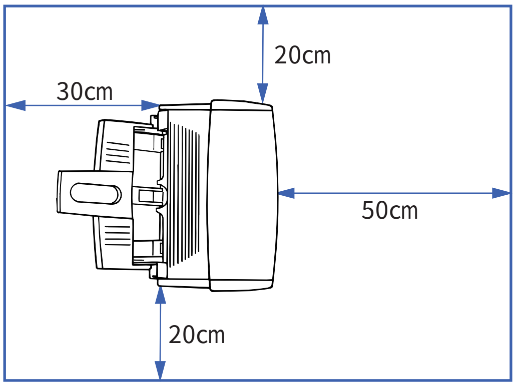
- 結露しないようにご注意ください。
- 周囲湿度が20%以下の場所に設置する場合は、加湿器または静電気防止マットなどをご使用ください。

設置に関する注意

- 結露したときは、プリンタが周囲の温度になじむまで1時間程度放置してから電源を入れてください。
- 直射日光が当たらないようにしてください。
- 通気性、換気のよい場所でご使用ください。火気の近くや高温、多湿な場所への設置はさけてください。
- 振動が多い場所への設置はさけてください。
- ほこり、潮風、腐食性ガスをさけてください。また、化学反応を起こすような場所（実験室など）には、設置しないでください。
- 強い磁界やノイズ発生源から離して設置してください。静電気をさけてください。
- コードがプリンタの下になったり、引っ張られたりしないようにご注意ください。また、電源コードが踏まれない場所に設置してください。
- 用紙排出口は、プリンタの通風口にもなっています。この部分がふさがれたり、外部から風が当たったりする場所には、プリンタを設置しないでください。プリンタ内部の空気の流れが変わり、内部が高温になり故障の原因となることがあります。

設置スペース

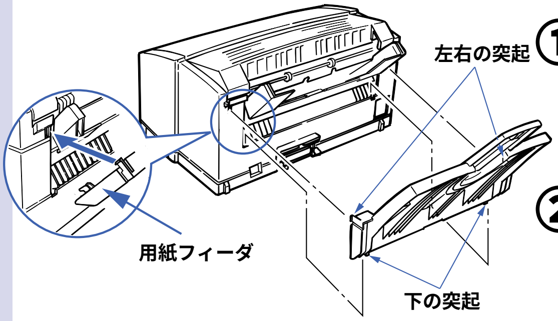
プリンタの足が全部のる大きさの、平らな机の上に置いてください。
プリンタのまわりに十分スペースをとって設置してください。



注 **プリンタは、傾きが2°以下となるように、平坦なところに設置してください。印刷がかすれるなどの印刷不良の原因となります。**

用紙フィーダを取り付ける

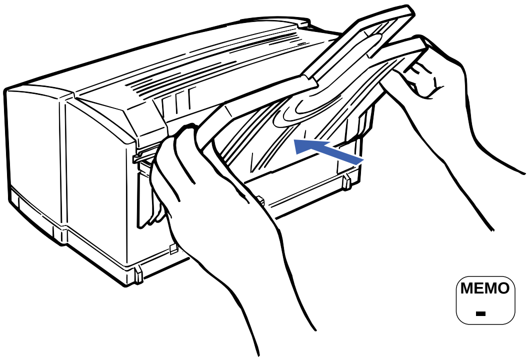
1. 用紙フィーダの突起をプリンタに合わせます。



① 用紙フィーダの下の突起（左右2ヶ所）をプリンタ背面の溝に合わせます。

② 用紙フィーダの左右の突起をプリンタの左右の溝に合わせます。

2. 用紙フィーダを押して、固定します。



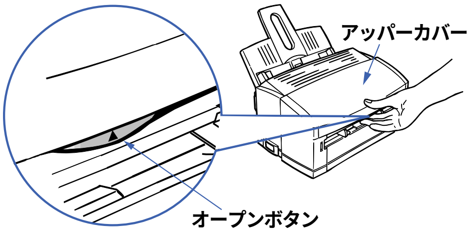
用紙フィーダを矢印方向に押すと、左右の突起がロックされ、用紙フィーダが固定されます。

MEMO **用紙フィーダを固定しづらい場合は、左右の突起を押しながら用紙フィーダを奥に差し込んでください。また、用紙フィーダを外す場合は、左右の突起を押してロックを外してください。**

カートリッジを取り付ける

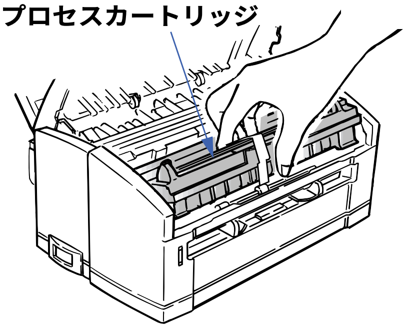
2

1. アッパーカバーを開けます。



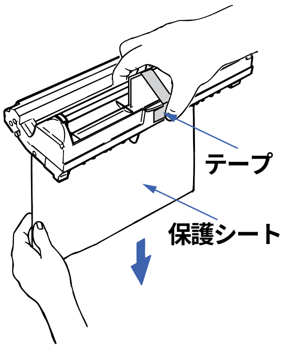
アッパーカバーの前面下部のオープンボタンを上へ軽く押し上げます。

2. プロセスカートリッジを取り出します。



① プロセスカートリッジの中央付近を持ち、手前側を引き上げてロックを外します。

② 手前側を上にして、静かに取り出します。

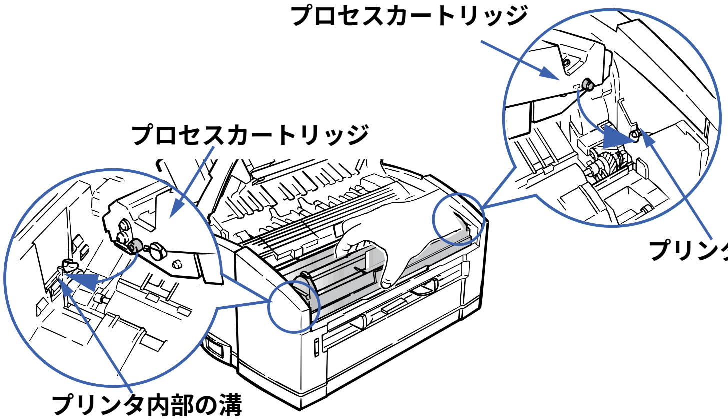


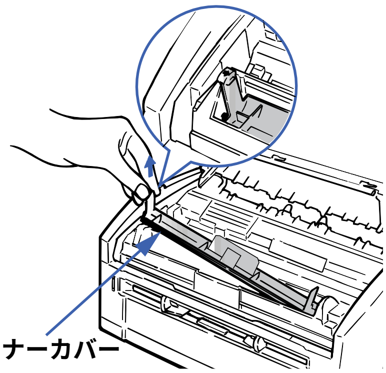
③ 白いテープをはがし、保護シートを引き抜きます。

注

- **感光ドラム（緑の筒の部分）は、非常に傷つきやすいため、取り扱いには十分注意してください。**
- **プロセスカートリッジを直射日光や強い光（約1500ルクス以上）に当てないでください。室内の照明の下でも5分以上放置しないでください。**

3. プロセスカートリッジをセットします。



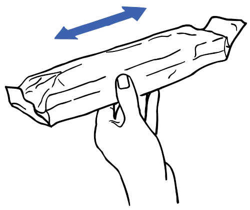


① プロセスカートリッジの両側にある突起をプリンタ内部の溝に合わせて挿入します。

② プロセスカートリッジの両端を下方向に押します。
カチッと音がして固定されます。

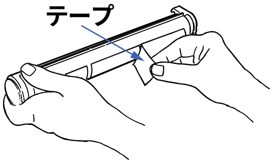
③ トナーカバーを左側からゆっくりと取り外します。

4. トナーカートリッジを用意します。



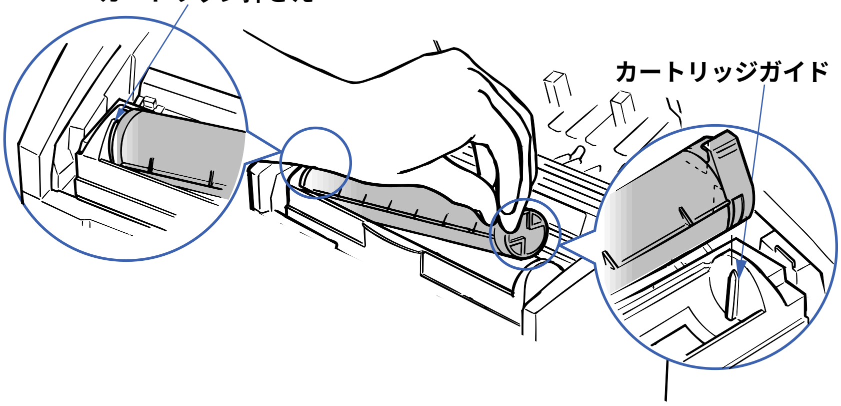
① 新しいトナーカートリッジを、左右に数回振ります。

② 包装袋からトナーカートリッジを取り出します。



③ トナーカートリッジを水平にして、白いテープをゆっくりとはがします。

5. トナーカートリッジをセットします。

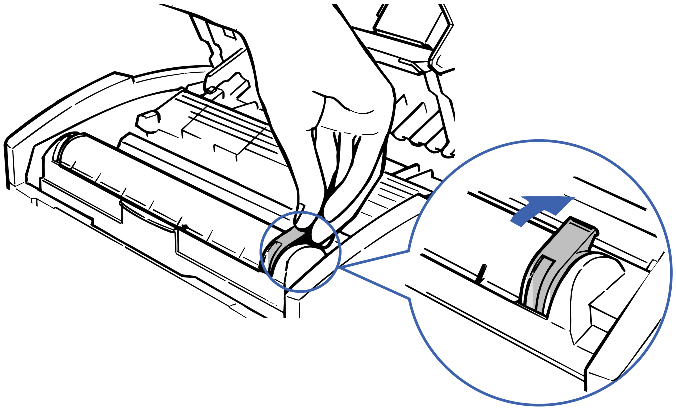


① テープをはがした面を下にして、トナーカートリッジをカートリッジ押さえの下に入れます。

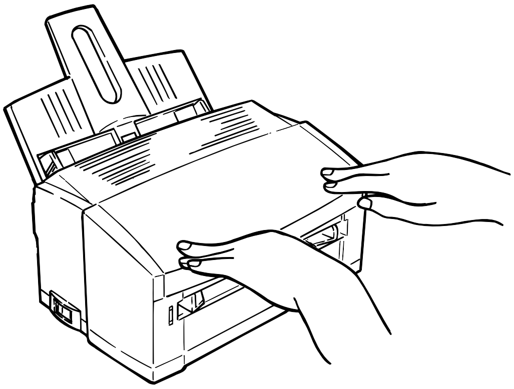
② 右側の溝をプロセスカートリッジのカートリッジガイドに合わせ、しっかりと押し込みます。

6. トナーカートリッジのノブを回します。

トナーカートリッジのノブ（灰色）を矢印方向いっぱいに止まるまで回します。



7. アッパーカバーを閉めます。



両手でアッパーカバーの両端 を押して閉めてください。

注

- **アッパーカバーが閉まらないときは、プロセスカートリッジが正しくセットされているか確認してください。**
- **アッパーカバーは、カチッと音がするまで確実に閉めてください。確実に閉められていないと、良好な印刷結果を得ることができません。**
- **トナーカートリッジ取り付け後に印刷する場合、「トナーカートリッジの交換」メッセージが表示されることがあります。故障ではありません。数枚印刷すると表示されなくなります。**

電源コードを接続する

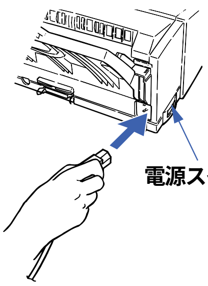
電源の条件

・以下の条件を守ってください。

交流（AC）	100V ± 10V
電源周波数	50Hz または 60Hz ± 1Hz

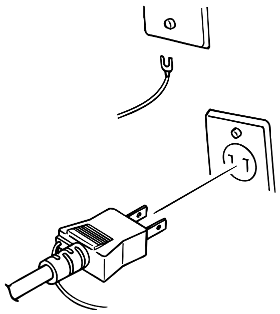
・電源が不安定な場合は、電圧調整器などをご使用ください。
・本プリンタの定格電力は 450W です。電源容量に十分余裕があることを確認してください。
・本プリンタと同じコンセントに他の電気製品を接続しないでください。特に空調機、複写機、シュレッダーなどを接続すると、電気的ノイズによってプリンタが誤動作することがあります。やむを得ず同じコンセントに接続する場合は、市販のノイズフィルターかトランスをご使用ください。
・電源コードが踏まれない場所に設置し、電源コードの上には物を置かないでください。
・延長コードは使用しないでください。やむを得ず使用する場合は、定格12A以上のものをご使用ください。
・電源コード、アース線を接続する場合には、必ず電源を切ってから接続してください。
・アース線は必ず専用のアース端子に接続してください。危険ですので、水道管、ガス管、電話線のアース、避雷針などには絶対に接続しないでください。

1. 電源コードをプリンタに差し込みます。



注 **電源スイッチがOFF（○）側になっていることを確認してください。**

2. 電源コードをコンセントに差し込みます。



① アース線をコンセントのアース端子に接続します。

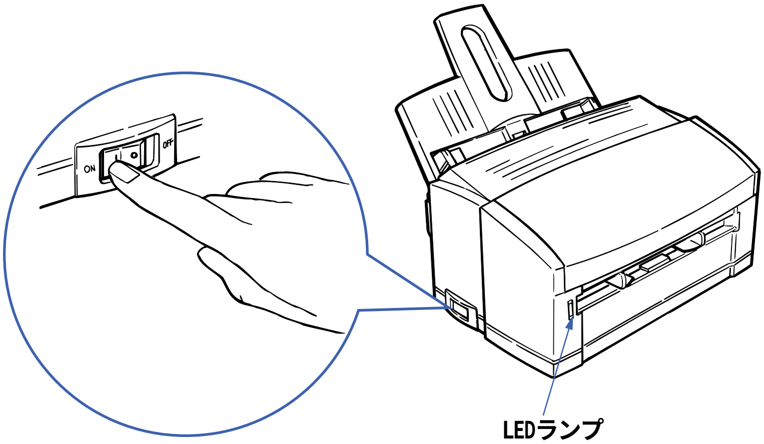
② 差し込みプラグをコンセントに差し込みます。

注
- **万一の危険防止のため、アース線は必ず接続してください。**
- **コンセント近くにアース端子がない場合は、電気工事店へご相談ください。**

電源を入れる

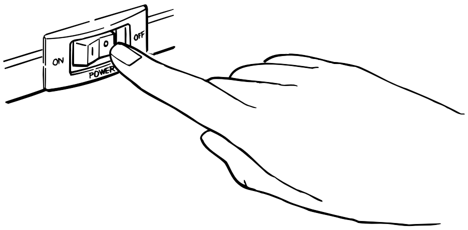
電源スイッチの ON（｜）側を押します。

電源がオンになるとプリンタ正面の LED ランプが点灯します。



電源を切るには電源スイッチの OFF（○）側を押します。

電源がオフになるとプリンタ正面の LED ランプが消灯します。



注 **印刷中には電源を切らないでください。**

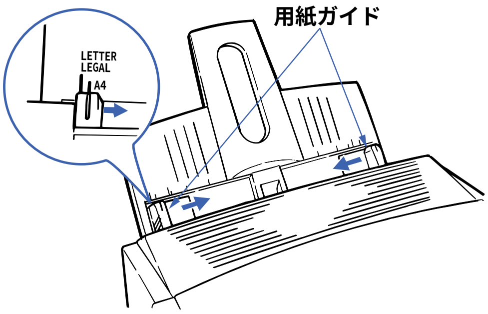
3. 用紙をセットします

用紙フィーダにセットする

普通紙に印刷する場合は、用紙フィーダに用紙をセットします。

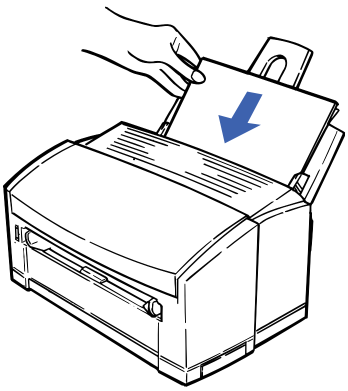
注 **フリーサイズの場合は、用紙フィーダではなく、必ず手差し口から印刷してください。**

1. 左右の用紙ガイドを使用する用紙サイズに合わせます。



2. 用紙を用紙フィーダにセットし、右側の用紙ガイドを軽く押しつけます。

用紙ガイドに沿って、用紙が突き当たるまで、静かにまっすぐ入れます。用紙と用紙ガイドの間に隙間がある場合や、きつい場合には、右側の用紙ガイドで微調整します。

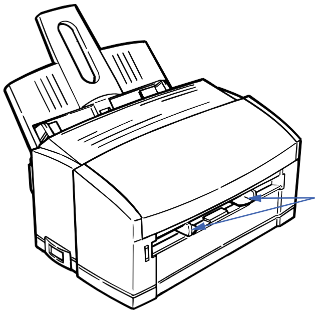


- 印刷面を下に向けてセットしてください。
- レターヘッドなどがある用紙は、ページの先頭を下にしてください。
- 用紙をセットした後は、用紙ガイドを動かさないでください。
- 用紙を追加する場合は、先に入っている用紙を一旦取り出し、追加する用紙と合わせてからセットしてください。
- 用紙は、55Kg紙で100枚までセットできます。
- 用紙を1枚だけセットしていると、正しく給紙されない場合があります。

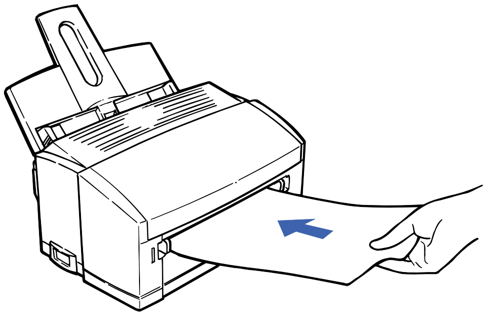
手差し口にセットする

OHP シートやラベル紙、A6、フリーサイズで印刷する場合は、用紙を手差し口にセットします。

1. 手差しガイドを使用する用紙サイズに合わせます。



2. 用紙を手差し口にセットします。



① 用紙を手差しガイドに沿ってまっすぐ入れます。

- 印刷面を上に向けてセットしてください。
- レターヘッドなどがある用紙は、ページの先頭からセットしてください。
- 用紙は 1 枚ずつ挿入してください。
- 用紙が曲がるほど強く押し込まないでください。
- 用紙ガイドと用紙の間に隙間ができないように注意してください。
- 用紙をセットした後は、用紙ガイドを動かさないでください。

② プリンタが用紙の先端を引き込んだら、手を離します。

注

- **手差し印刷を行う場合は、パソコン側の給紙方法は「手差し」を選択してください。**
- **連続で手差し印刷を行う場合は、パソコンの画面に「手差し口にXX用紙をセットしてください」と表示され、前の用紙が完全に排出されたことを確認してから、次の用紙をセットしてください。（XXには設定している用紙サイズが表示されます。）**
- **パワーセーブ状態のときは、プリンタが動作するまでに少し時間がかかります。**
- **用紙を手差し口に入れてすぐに手を離してしまうと、紙づまりが発生することがあります。**

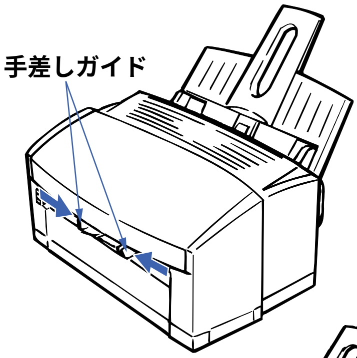
ハガキガイドにセットする

ハガキに印刷する場合は、ハガキをハガキガイドにセットします。ハガキガイドはプリンタに添付されています。

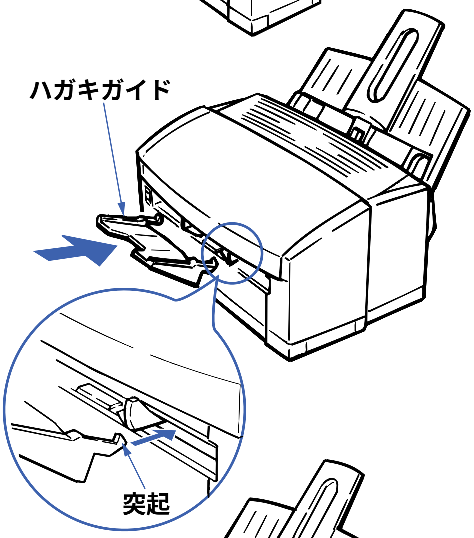
注

- **ハガキに印刷する場合には、必ずハガキガイドを使用してください。**
- **官製ハガキを使用してください。私製ハガキは保証外です。**
- **往復ハガキは使用できません。**

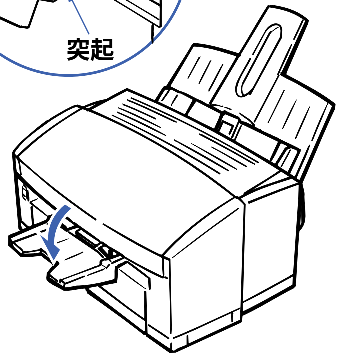
1. ハガキガイドを取り付けます。



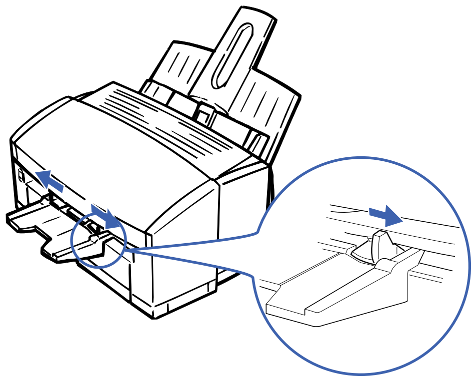
①手差しガイドを左右から内側に突き当たるまで移動させます。



②ハガキガイドの突起（左右2ヶ所）を手差し口に合わせます。

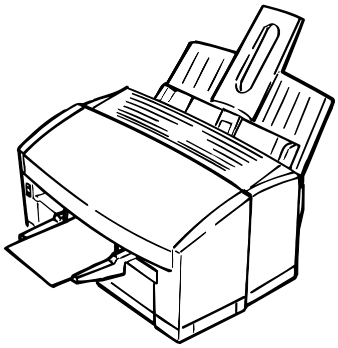


③ハガキガイドを上から下に押して、手差し口に固定します。



④ハガキガイドに当たるまで手差しガイドを広げます。

2. ハガキをハガキガイドにセットします。

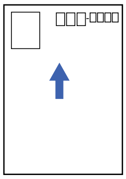


①ハガキをハガキガイドに沿ってまっすぐ入れます。

- 印刷面を上に向けてセットしてください。
- ハガキの先頭からセットしてください。
- ハガキは１枚ずつ挿入してください。
- ハガキが曲がるほど強く押し込まないでください。

②プリンタが用紙の先端を引き込んだら、手を離します。

〈ハガキのセット方向〉



注

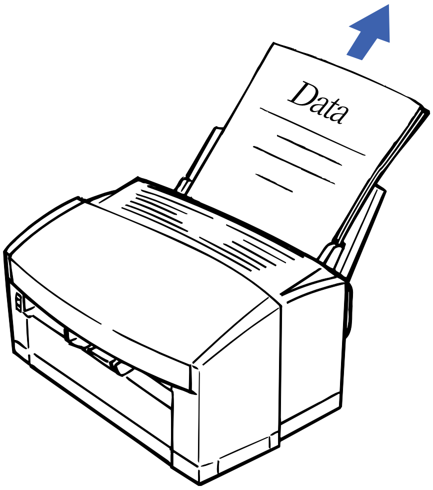
- **ハガキに印刷する場合は、パソコン側の給紙方法が「手差し」になっていることを確認してください。**
- **連続印刷を行う場合は、パソコンの画面に「手差し口にハガキをセットしてください」と表示され、前のハガキが完全に排出されたことを確認してから、次のハガキをセットしてください。**
- **パワーセーブ状態のときは、プリンタが動作するまでに少し時間がかかります。**
- **ハガキをハガキガイドに入れてすぐに手を離してしまうと、紙づまりが発生することがあります。**

用紙の排出

用紙は用紙フィーダ上部の排紙スタッカへ排出されます。

・印刷された用紙は印刷面が上向きで排出されます。

・55kg 紙で約 30 枚まで、排紙スタッカ上にのせておくことができます。



注 **用紙排出口は熱くなっていることがあります。用紙を取るときにはご注意ください。**

3

セットアップ方法を決める

接続方法、システム環境によりセットアップ方法が異なります。次の表でセットアップ方法を確認してください。

○：セットアップできます
×：セットアップできません

接続方法	システム環境	セットアップ方法	
		プラグアンドプレイ	プリンタの追加
パラレルインタフェース	Windows Me Windows 98 Windows 95 Windows 2000	○	○
	Windows NT4.0	×	○
USBインタフェース	Windows Me Windows 98 Windows 2000	○	×

注 **パソコンをプリンタに接続するときは、パラレルインタフェースまたはUSBインタフェースのいずれか一方に接続してください。**

プリンタドライバの動作環境

● Windows Me

Windows Me日本語版の動作するPC/AT互換機で、次の条件を満たすもの。

CPU	Pentium150MHz以上（推奨　Pentium II 300MHz以上）
メモリ	32MB以上　（推奨　64MB以上）
ハードディスク	5MB以上の空き容量

● Windows 98/95

Windows 98日本語版、Windows 95日本語版の動作するPC/AT互換機で、次の条件を満たすもの。

CPU	i486DX2 66MHz以上（推奨　Pentium 133MHz以上）
メモリ	16MB以上
ハードディスク	5MB以上の空き容量

● Windows NT4.0

Windows NT Server4.0日本語版またはWindows NT Workstation4.0日本語版の動作するPC/AT互換機で、次の条件を満たすもの。

CPU	Pentium 90MHz以上（推奨　Pentium 133MHz以上）
メモリ	32MB以上（推奨　64MB以上）
仮想メモリ	32MB以上の空き容量
ハードディスク	8MB以上の空き容量

● Windows 2000

Windows 2000 Professional日本語版またはWindows 2000 Server日本語版の動作するPC/AT互換機で、次の条件を満たすもの。

CPU	Pentium　133MHz以上（推奨　Pentium 166MHz以上）
メモリ	32MB以上（推奨　64MB以上）
仮想メモリ	32MB以上の空き容量
ハードディスク	8MB以上の空き容量

注

- **日本語版以外のWindows Me/98/95、Windows NT4.0/2000では動作しません。**
- **MS-DOSおよびWindowsのDOSプロンプトでは動作しません。**
- **WIN-OS/2、Windows NT 3.5/3.51、およびWindows 3.1では動作しません。**
- **ネットワークによるプリンタの共有や、LANアダプタなどによる接続には対応していません。**
- **本ドライバは他機種（XL-1200等）で使用することはできません。**
  また同様に、他機種用（XL-1200等）のドライバを本プリンタで使用することはできません。
- **Windows NT4.0/2000は、ARC 互換RISCベースのプロセッサ（MIPS®Rシリーズ、Alpha、PowerPC™など）のシステムには対応していません。**
- **双方向通信に対応したプリンタと同一ポートを共存して使用することはできません。次のプリンタとは、共存できません。**
  ＝Microsoft®Windows®Printing Systemに対応したプリンタ＝
  ＝カラーインクジェットプリンタ＝
  XJ-300, XJ-330, XJ-350, XJ-500, XJ-550, XJ-600, XJ-610, XJ-700, XJ-800
  ＝カラースキャナ＆プリンタ＝
  XJS-400
  ＝イメージプロセッサー＝
  IA-3000

パラレルインタフェースで接続する

動作環境

● Windows Me/98/95/NT4.0/2000

Windows Me/98/95/NT4.0/2000日本語版の動作するパーソナルコンピュータ
PC/AT互換機で双方向パラレルインタフェースをサポートしている機種

4

注

- パラレルポートがECPモードになっていると、正常に動作しない場合があります。ECPモードになっている場合は、ご使用のパソコンの取扱説明書をご覧の上、他のモードへ変更してご使用ください。
- プリンタ切替器に接続していると、正常に印刷できない場合があります。このような場合は、プリンタ切替器をはずしてご使用ください。
- USB-パラレル変換ケーブルによる接続では、正常に印刷できません。
- プリンタとパソコンを接続するときは、パラレルインタフェースまたはUSBインタフェースのいずれか一方に接続してください。

MEMO

- **CD-ROM ドライブの表記について**
  本書では、CD-ROM ドライブ名は、D：　を例にしています。通常、CD-ROM ドライブは、PC/AT 互換機（DOS/V、PC98-NX）では　D：　になっています。お使いのパソコンの CD-ROM ドライブをご確認のうえ、入力してください。
- **Windows 画面の図について**
  - Windows Me/98/95/NT4.0/2000 共通の画面は、基本的に Windows 98 の画面を例にしています。
  - お使いの OS（Windows Me/98/95/NT4.0/2000）によって、画面表示や選択肢の内容が一部異なる場合があります。

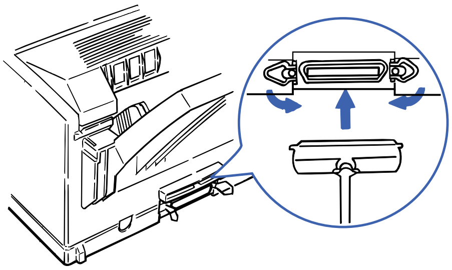
プラグアンドプレイでセットアップする

注

- IEEE1284に準拠した双方向プリンタケーブルを用意してください。
- プリンタケーブルは本プリンタには添付されていません。お使いのパソコンに合わせて別途購入してください。
- Windows NT4.0は、プリンタの追加でセットアップします。手順7（P.42）をご覧ください。
- Windows 2000は、Administratorの権限が必要です。

1. プリンタ、パソコンの電源をオフにします。

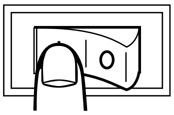
2. プリンタケーブルを接続します。



① プリンタケーブルをプリンタのパラレルインタフェースに差し込み、コネクタ両側の金具で固定します。

② プリンタケーブルのもう一方のコネクタをパソコンに接続します。

3. プリンタの電源をオンにします。



プリンタ前面のLEDランプが点滅を開始し、完全に起動すると点灯します。

4. パソコンの電源をオンにして、Windowsを起動します。

Windows Me/98/95/2000 がすでに起動している場合には、必ず再起動してください。

Windows Me をお使いの場合は手順 5（P.27）に進んでください。

Windows 98 をお使いの場合は手順 6（P.29）に進んでください。

Windows 95 をお使いの場合は手順 7（P.31）に進んでください。

Windows 2000 をお使いの場合は手順 8（P.34）に進んでください。

5.

Windows Me Windows Meをお使いの方だけご覧ください。

画面の指示に従って、プリンタドライバディスクをセットします。

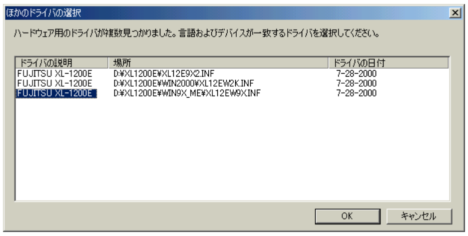
注

- **FUJITSU XL-1200Eがすでに登録されている場合は、一旦削除してからセットアップしてください。（P.74）**
- **〔新しいハードウェア〕が検出されない場合（下記のような画面が表示されない場合）は、「プリンタの追加でセットアップする」（36ページ）へ進みます。**

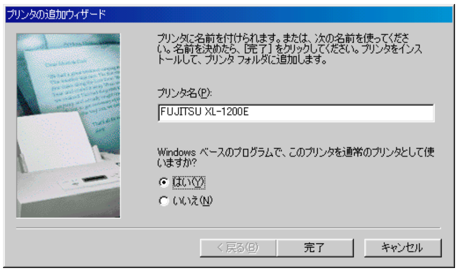


① 〔新しいハードウェアの追加ウィザード〕が表示されたら、「次の新しいハードウェアが見つかりました：FUJITSU XL-1200E」と表示されることを確認し、プリンタソフトウェア CD-ROM をセットしてから「適切なドライバを自動的に検索する（推奨）」を選択して、〔次へ〕をクリックします。

- 〔ファイルのコピー〕が表示されたら、手順⑤へ進みます。
- 画面が表示されなかったら、「プリンタの追加でセットアップする」（36ページ）へ進みます。



② 「ほかのドライバの選択」画面が表示されたら、「場所」が〔D:\XL1200E\WIN9X_ME\XL12EW9X.INF〕（CD-ROM ドライブがD：の場合）のドライバを選択し、〔OK〕をクリックします。



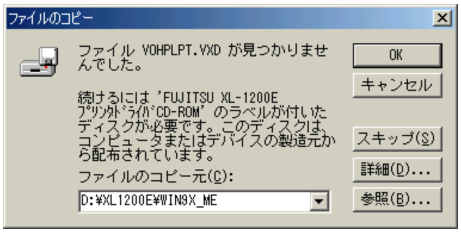
③ プリンタ名および通常使うプリンタにするかどうかを設定し、〔完了〕をクリックします。

ファイルのコピーが開始されます。



④ 必要なソフトウェアがインストールされたことを確認し、〔完了〕をクリックします。

「8. ステータスモニタをインストールします」（P.55）へ進みます。



⑤ 〔プリンタソフトウェア CD-ROM〕をセットし、〔ファイルのコピー元〕に「D:\XL1200E￥WIN9X_ME」（CD-ROM ドライブがD：の場合）と入力し、〔OK〕をクリックします。

ファイルのコピーが開始されます。

「8. ステータスモニタをインストールします」（P.55）へ進みます。

6.

Windows 98 Windows 98をお使いの方だけご覧ください。

画面の指示に従って、プリンタドライバディスクをセットします。

注

- **FUJITSU XL-1200Eがすでに登録されている場合は、一旦削除してからセットアップしてください。（P.74）**
- **〔新しいハードウェア〕が検出されない場合（下記のような画面が表示されない場合）は、「プリンタの追加でセットアップする」（36ページ）へ進みます。**



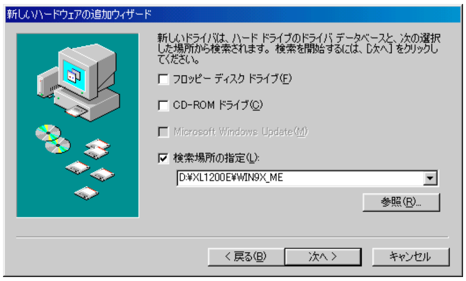
① 〔新しいハードウェアの追加ウィザード〕が表示されたら、「次の新しいドライバを検索しています：FUJITSU XL-1200E」と表示されることを確認し、〔次へ〕をクリックします。

- 〔ディスクの挿入〕が表示されたら、手順⑧へ進みます。
- 画面が表示されなかったら、「プリンタの追加でセットアップする」（36ページ）へ進みます。



② 〔使用中のデバイスに最適なドライバを検索する（推奨）〕を選択し、〔次へ〕をクリックします。

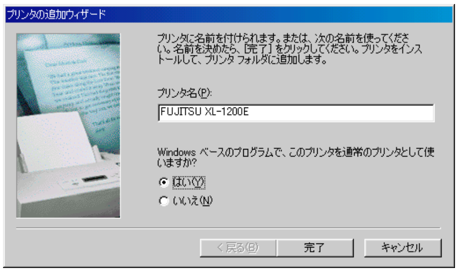
③ プリンタソフトウェア CD-ROM をセットします。



④ 「検索場所の指定」に「D：¥XL1200E¥WIN9X_ME」（CD-ROMドライブがD：の場合）と入力し、〔次へ〕をクリックします。



⑤ このデバイスに最適なドライバをインストールする準備ができたことを確認し、〔次へ〕をクリックします。



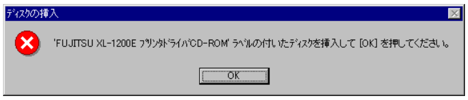
⑥ プリンタ名および通常使うプリンタにするかどうかを設定し、〔完了〕をクリックします。

ファイルのコピーが開始されます。



⑦ 必要なソフトウェアがインストールされたことを確認し、〔完了〕をクリックします。

「8. ステータスモニタをインストールします」（P.55）へ進みます。



⑧ 〔ディスクの挿入〕が表示されたら、〔プリンタソフトウェアCD-ROM〕をセットし、〔OK〕をクリックします。



⑨ 〔ファイルのコピー元〕に「D:\XL1200E ¥WIN9X_ME」（CD-ROMドライブがD:の場合）と入力し、〔OK〕をクリックします。

ファイルのコピーが開始されます。

「8. ステータスモニタをインストールします」（P.55）へ進みます。

7.

Windows 95 Windows 95をお使いの方だけご覧ください。

画面の指示に従って、プリンタドライバディスクをセットします。

注

- **FUJITSU XL-1200Eがすでに登録されている場合は、一旦削除してからセットアップしてください。（P.74）**
- **〔新しいハードウェア〕が検出されない場合（下記のような画面が表示されない場合）は、「プリンタの追加でセットアップする」（36ページ）へ進みます。**



① 〔デバイスドライバウィザード〕が表示されたら、〔次へ〕をクリックします。

・〔新しいハードウェア〕が表示されたら、手順⑨へ進みます。

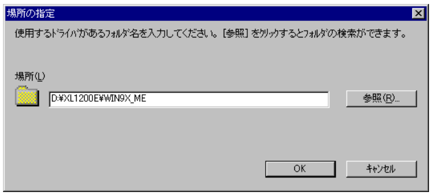
・〔ディスクの挿入〕が表示されたら、手順⑬へ進みます。

・画面が表示されなかったら、「プリンタの追加でセットアップする」（36ページ）へ進みます。



② 〔場所の指定〕をクリックします。

③ プリンタソフトウェアCD-ROMをセットします。

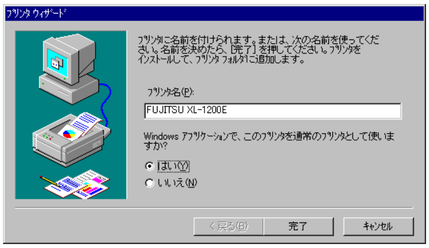


④ 「場所」に「D：¥XL1200E¥WIN9X_ME」（CD-ROMドライブがD：の場合）と入力し、〔OK〕をクリックします。

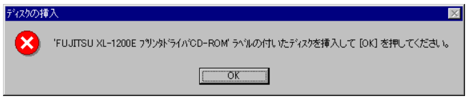
4



⑤「このデバイス用の更新されたドライバが見つかりました。FUJITSU XL-1200E」と表示されていることを確認し、〔完了〕をクリックします。



⑥プリンタ名および通常使うプリンタにするかどうかを設定し、〔完了〕をクリックします。



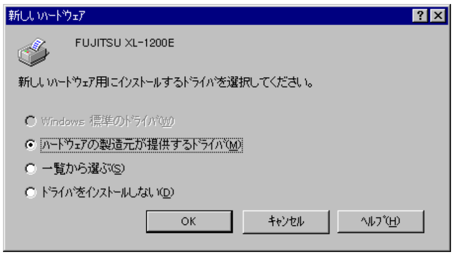
⑦〔ディスクの挿入〕が表示されたら、〔OK〕をクリックします。



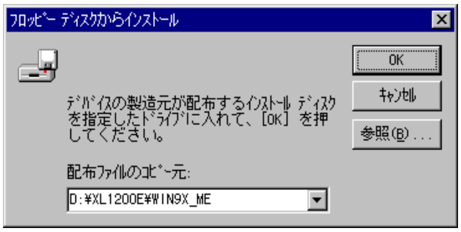
⑧〔ファイルのコピー元〕に「D:\XL1200E¥WIN9X_ME」（CD-ROMドライブがD:の場合）と入力し、〔OK〕をクリックします。

ファイルのコピーが開始されます。

「8. ステータスモニタをインストールします」（P.55）へ進みます。

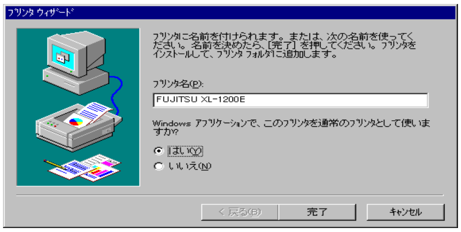


⑨〔新しいハードウェア〕が表示されたら、〔ハードウェアの製造元が提供するドライバ〕を選択し、〔OK〕をクリックします。



⑩「プリンタソフトウェア CD-ROM」をセットします。

⑪〔配布ファイルのコピー元〕に「D：\XL1200E¥WIN9X_ME」（CD-ROM ドライブがD：の場合）と入力し、〔OK〕をクリックします。

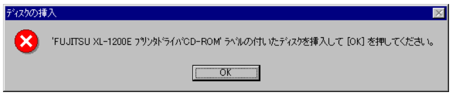


⑫プリンタ名および通常使うプリンタにするかどうかを設定し、〔完了〕をクリックします。

ファイルのコピーが開始されます。

「8. ステータスモニタをインストールします」（p.55）へ進みます。

4



⑬〔ディスクの挿入〕が表示されたら、「プリンタソフトウェアCD-ROM」をセットし、〔OK〕をクリックします。



⑭〔ファイルのコピー元〕に「D：\XL1200E¥WIN9X_ME」（CD-ROM ドライブがD：の場合）と入力し、〔OK〕をクリックします。

ファイルのコピーが開始されます。

⑮通常使うプリンタに設定する場合には、〔スタート〕-〔設定〕-〔プリンタ〕を選択し、「FUJITSU XL-1200E」アイコンを右クリックし、〔通常使うプリンタに設定〕を選択します。

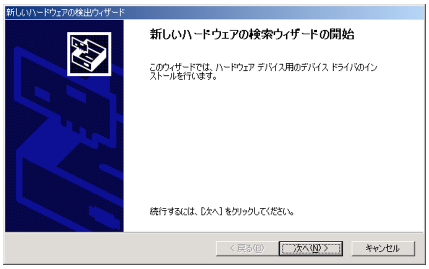
「8. ステータスモニタをインストールします」（P.55）へ進みます。

8.

Windows 2000　Windows 2000をお使いの方だけご覧ください。

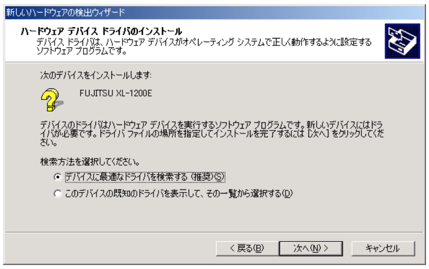
画面の指示に従って、プリンタドライバディスクをセットします。

注✎　**Administratorの権限でログインしていることを確認してください。**



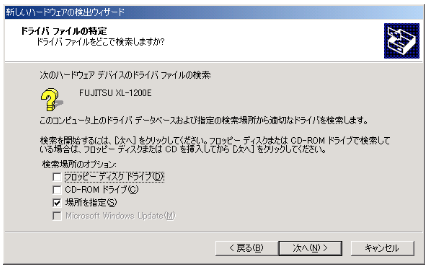
① 〔新しいハードウェアの検出ウィザード〕が表示されたら、〔次へ〕をクリックします。

〔デジタル署名が見つかりませんでした〕が表示されたら、〔はい〕をクリックし、「8. ステータスモニタをインストールします」（P.55）へ進みます。

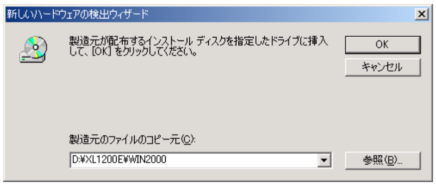


② 「次のデバイスをインストールします：FUJITSU XL-1200E」と表示されていることを確認してください。

〔デバイスに最適なドライバを検索する（推奨）〕を選択し、〔次へ〕をクリックします。



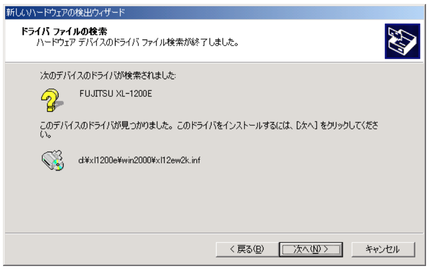
③ 〔場所を指定〕を選択し、〔次へ〕をクリックします。



④ 「プリンタソフトウェア CD-ROM」をセットします。

⑤ 〔製造元のファイルのコピー元〕に「D：\XL1200E￥WIN2000」（CD-ROMドライブがD：の場合）と入力し、〔OK〕をクリックします。

4

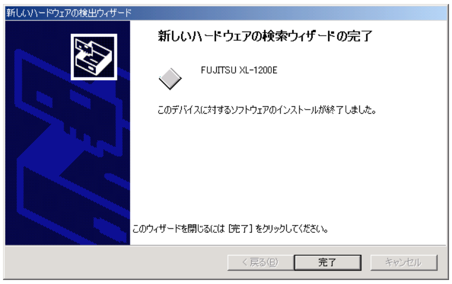


⑥「次のデバイスのドライバが検索されました：FUJITSU XL-1200E」と表示されていることを確認し、〔次へ〕をクリックします。



⑦〔デジタル署名が見つかりませんでした〕で、〔はい〕をクリックします。

ファイルのコピーが開始されます。



⑧〔新しいハードウェアの検索ウィザードの完了〕で、〔完了〕をクリックします。

⑨通常使うプリンタに設定する場合は、〔スタート〕-〔設定〕-〔プリンタ〕を選択し、「FUJITSU XL-1200E」アイコンを右クリックし、〔通常使うプリンタに設定〕を選択します。

「8. ステータスモニタをインストールします」（P.55）へ進みます。

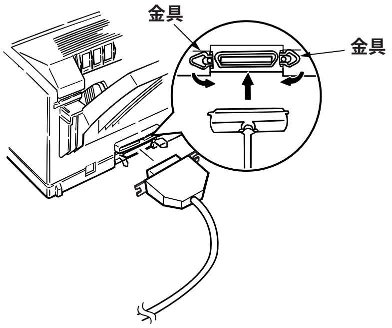
プリンタの追加でセットアップする

注

- IEEE1284に準拠した双方向プリンタケーブルを用意してください。
- プリンタケーブルは本プリンタには添付されていません。お使いのパソコンに合わせて別途購入してください。
- Windows NT4.0/2000は、Administratorの権限が必要です。

1. プリンタ、パソコンの電源をオフにします。

2. プリンタケーブルを接続します。

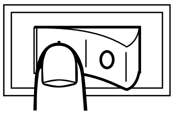


① プリンタケーブルをプリンタのパラレルインタフェースに差し込み、コネクタ両側の金具で固定します。

② プリンタケーブルのもう一方のコネクタをパソコンに接続します。

3. Windows を起動します。

4. プリンタの電源をオンにします。



プリンタ前面のLEDランプが点滅を開始し、完全に起動すると点灯します。

Windows Me/98/95 Windows Me/98/95をお使いの方だけご覧ください。

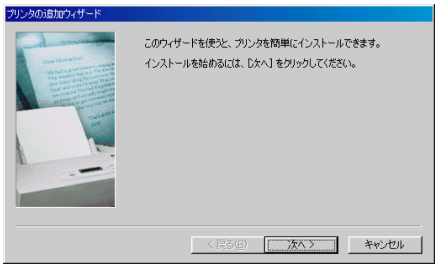
Windows Me/98/95 をセットアップします。

注 **Windows 98を例に説明しています。**

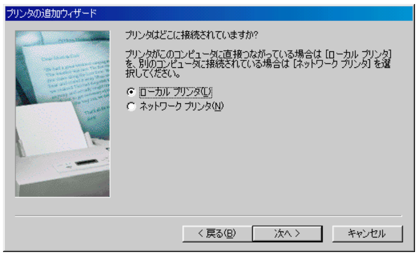
① 〔スタート〕-〔設定〕-〔プリンタ〕を選択します。

② 〔プリンタの追加〕をダブルクリックします。

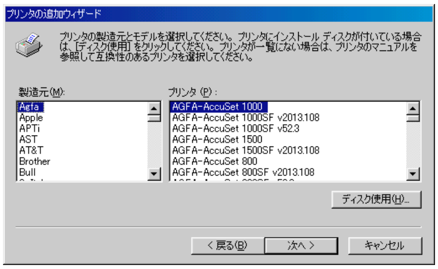
③ 「プリンタの追加ウィザード」が起動しますので、〔次へ〕をクリックします。

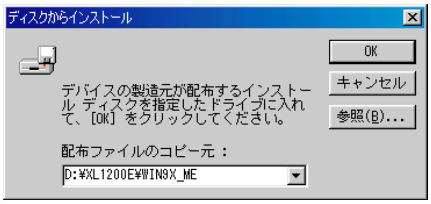


④ 〔ローカルプリンタ〕を選択し、〔次へ〕をクリックします。

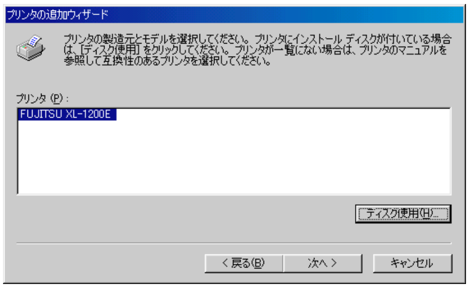


⑤ 〔ディスク使用〕をクリックします。

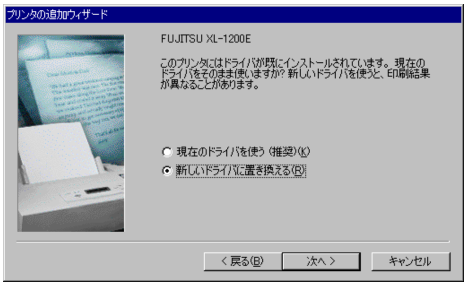




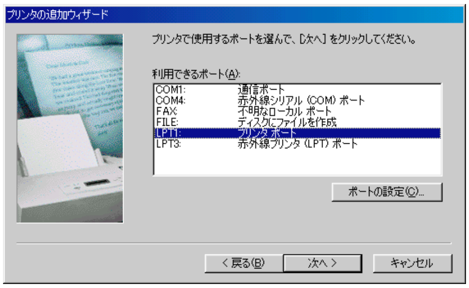
⑥「ディスクからインストール」画面が表示されたら、「プリンタソフトウェア CD-ROM」をセットし、〔配布ファイルのコピー元〕に「D：¥XL1200E¥WIN9X-ME」（CD-ROM ドライブが D：の場合）と入力し、〔OK〕をクリックします。



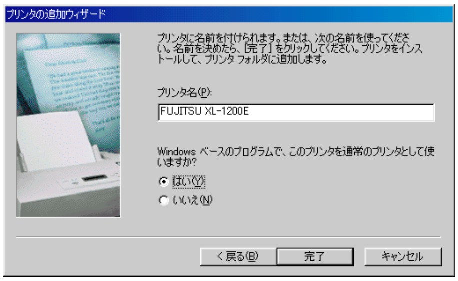
⑦〔FUJITSU XL-1200E〕を選択し、〔次へ〕をクリックします。



⑧USBドライバがすでにセットアップされている場合に表示されます。
〔新しいドライバに置き換える〕を選択し、〔次へ〕をクリックします。



⑨〔利用できるポート〕で〔LPT1:プリンタポート〕を選択し、〔次へ〕をクリックします。



⑩プリンタ名および通常使うプリンタにするかどうかを設定し、〔完了〕をクリックします。

ファイルのコピーが開始されます。

続いて、「8. ステータスモニタをインストールします」（P.55）へ進みます。

Windows 2000

Windows 2000をお使いの方だけご覧ください。

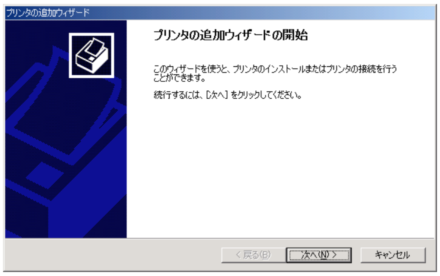
Windows 2000 をセットアップします。

注 **Administratorの権限でログインしていることを確認してください。**

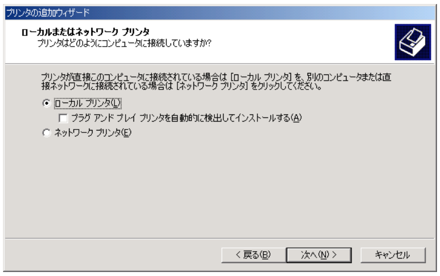
① 〔スタート〕-〔設定〕-〔プリンタ〕を選択します。

② 〔プリンタの追加〕をダブルクリックします。

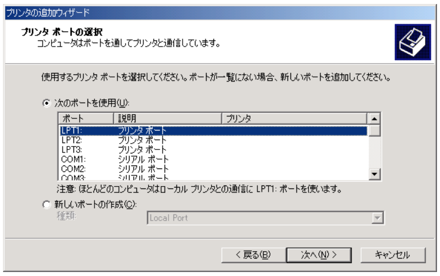
③ 「プリンタの追加ウィザード」が起動しますので、〔次へ〕をクリックします。



④ 〔ローカルプリンタ〕を選択し、〔プラグアンドプレイプリンタを自動的に検出してインストールする〕のチェックを外して、〔次へ〕をクリックします。



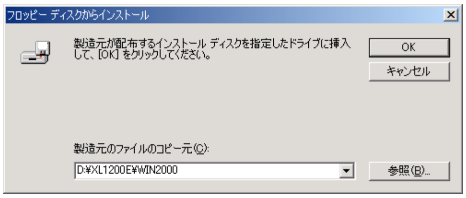
⑤ 〔次のポートを使用〕を選択して、「LPT1：プリンタポート」を選択し、〔次へ〕をクリックします。



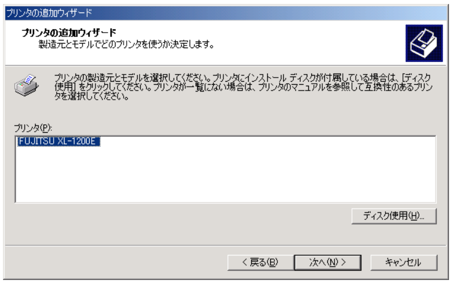
4



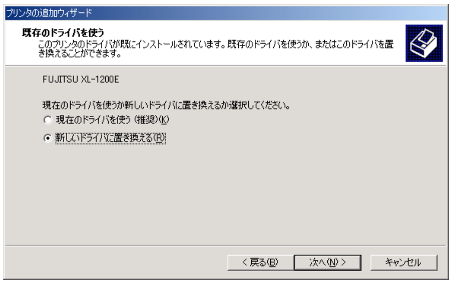
⑥〔ディスク使用〕をクリックします。



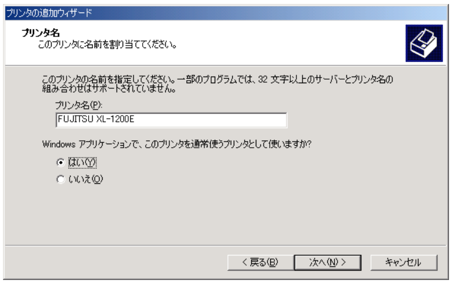
⑦「フロッピーディスクからインストール」画面が表示されたら、「プリンタソフトウェア CD-ROM」をセットし、〔製造元のファイルのコピー元〕に「D:\XL1200E\WIN2000」（CD-ROMドライブがD：の場合）と入力し、〔OK〕をクリックします。



⑧〔FUJITSU XL-1200E〕を選択し、〔次へ〕をクリックします。

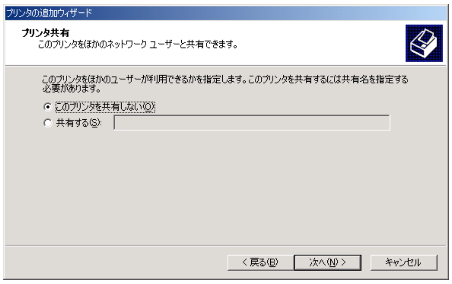


⑨USBドライバがすでにセットアップされている場合に表示されます。
「新しいドライバに置き換える」を選択し、〔次へ〕をクリックします。

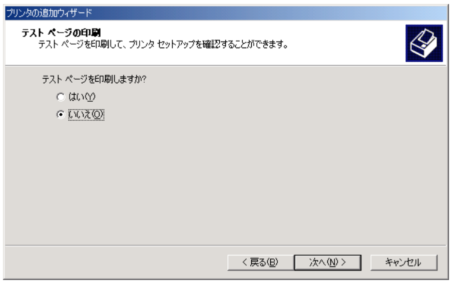


⑩プリンタ名および通常使うプリンタにするかどうかを設定し、〔次へ〕をクリックします。

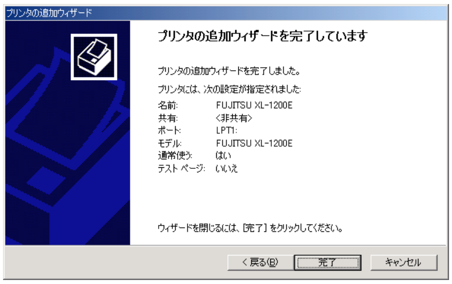
4



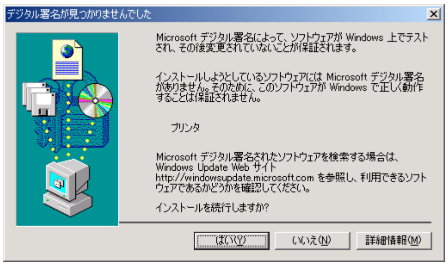
⑪〔このプリンタを共有しない〕を選択し、〔次へ〕をクリックします。



⑫テストページを印刷するかどうかを指定し、〔次へ〕をクリックします。



⑬〔プリンタの追加ウィザードを完了しています〕で〔完了〕をクリックします。



⑭「デジタル署名が見つかりませんでした」画面で、〔はい〕をクリックします。

ファイルのコピーが開始されます。

続いて、「8. ステータスモニタをインストールします」(P.55)へ進みます。

4

7.

Windows NT Windows NT4.0をお使いの方だけご覧ください。

Windows NT4.0をセットアップします。

注 Administratorの権限でログインしていることを確認してください。

① 〔スタート〕-〔設定〕-〔プリンタ〕を選択します。

② 〔プリンタの追加〕をダブルクリックします。

③ 〔プリンタの追加ウィザード〕で、〔このコンピュータ〕を選択し、〔次へ〕をクリックします。

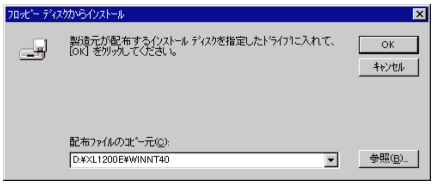


④ 〔利用可能なポート〕で「LPT1：Local Port」にチェックを付け、〔次へ〕をクリックします。

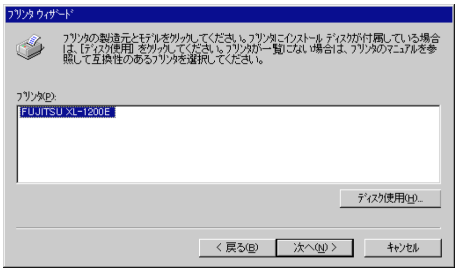


⑤ 〔ディスク使用〕をクリックします。





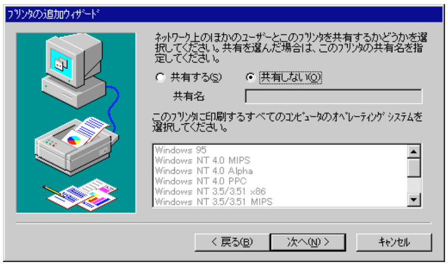
⑥「フロッピーディスクからインストール」画面が表示されたら、「プリンタソフトウェアCD-ROM」をセットし、〔配布ファイルのコピー元〕に「D：\XL1200E\WINNT40」（CD-ROM ドライブが D：の場合）と入力し、〔OK〕をクリックします。



⑦〔FUJITSU XL-1200E〕を選択し、〔次へ〕をクリックします。



⑧プリンタ名および通常使うプリンタにするかどうかを設定し、〔次へ〕をクリックします。



⑨〔共有しない〕を選択し、〔次へ〕をクリックします。



⑩テストページを印刷するかどうかを指定し、〔完了〕をクリックします。

ファイルのコピーが開始されます。

続いて、「8. ステータスモニタをインストールします」（P.55）へ進みます。

USBインタフェースで接続する

動作環境

● Windows Me/98/2000

Windows Me/98/2000日本語版の動作するパーソナルコンピュータ
PC/AT互換機でUSBインタフェースを内蔵している機種

注

- Windows 95/3.1からWindows 98へアップグレードインストールした環境での動作は保証できません。
- Windows 95では動作しません。
- 印刷中にUSBケーブルを抜き差ししないでください。
- USBケーブルを短時間で抜き差ししないでください。抜き差しする間隔は5秒間以上あけてください。
- 他の全てのUSB機器との同時接続を保証するものではありません。
- 同一機種のプリンタを複数台接続すると、プリンタフォルダに「FUJITSU XL-1200E」「FUJITSU XL-1200E（コピー2）」「FUJITSU XL-1200E（コピー3）」と表示されます。この番号はプリンタを接続する順序や電源をONする順序によって変わります。
- USBハブを使用する場合は、コンピュータと直接接続されたUSBハブに接続してください。
- 本プリンタUSBケーブルは、パソコン本体のUSBコネクタ、またはセルフパワータイプのUSBハブ（電源コードやACアダプタにより電源が供給されるタイプのハブ）のコネクタに接続してください。上記以外のUSBコネクタに接続すると、正常に動作しない場合があります。
- プリンタとパソコンを接続するときには、パラレルインタフェースまたはUSBインタフェースのいずれか一方に接続してください。

MEMO

お使いのコンピュータがUSBに対応しているか確認できます。

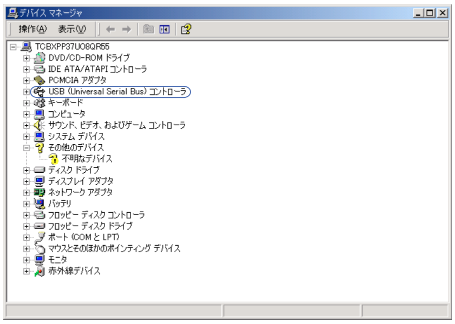
〈Windows Me/98〉

〔マイコンピュータ〕を右クリックし、〔プロパティ〕-〔デバイスマネージャ〕タブの順に開きます。



〈Windows 2000〉

〔マイコンピュータ〕を右クリックし、〔プロパティ〕-〔ハードウェア〕タブの順に開き、〔デバイスマネージャ〕をクリックします。



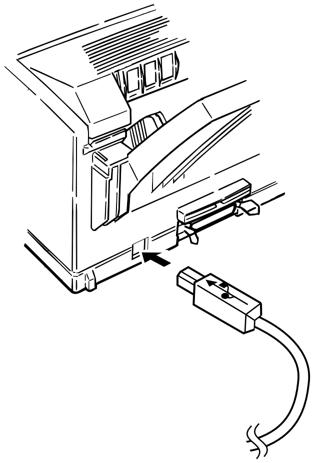
プラグアンドプレイでセットアップする

注

- USB1.1に準拠したUSBケーブルを用意してください。
- USBケーブルは本プリンタには添付されていません。お使いのパソコンに合わせて、別途購入してください。
- Windows 2000は、Administratorの権限が必要です。

1. プリンタ、パソコンの電源をオフにします。

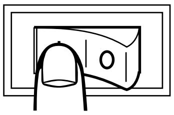
2. USB ケーブルを接続します。



① USB ケーブルをプリンタの USB インタフェースに差し込みます。

② USBケーブルのもう一方のコネクタをパソコンに接続します。

3. プリンタの電源をオンにします。



プリンタ前面のLEDランプが点滅を開始し、完全に起動すると点灯します。

4. パソコンの電源をオンにして、Windowsを起動します。

Windows Me をお使いの場合は手順 5（P.47）に進んでください。
Windows 98 をお使いの場合は手順 6（P.49）に進んでください。
Windows 2000 をお使いの場合は手順 7（P.52）に進んでください。

5.

Windows Me Windows Meをお使いの方だけご覧ください。

画面の指示に従って、プリンタドライバディスクをセットします。

USB ドライバをセットアップします。



① 〔新しいハードウェアの追加ウィザード〕が表示されたら、「次の新しいハードウェアが見つかりました：USB Device」と表示されることを確認し、プリンタソフトウェア CD-ROM をセットしてから「適切なドライバを自動的に検索する（推奨）」を選択して、〔次へ〕をクリックします。

〔ファイルのコピー〕が表示されたら、手順⑦へ進みます。

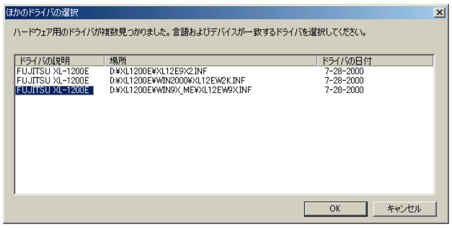


② 必要なソフトウェアがインストールされたことを確認し、〔完了〕をクリックします。

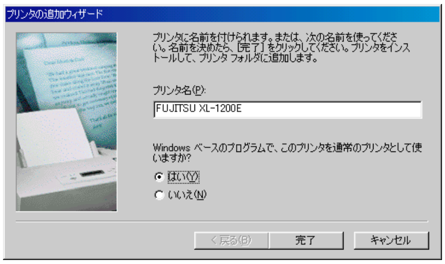
引き続き、USBケーブルに接続しているプリンタを自動的に検出します。



③ 「新しいハードウェアの追加ウィザード」画面が表示されたら、「次の新しいハードウェアが見つかりました：FUJITSU XL-1200E」と表示されていることを確認し、「適切なドライバを自動的に検索する（推奨）」を選択し、〔次へ〕をクリックします。



④「ほかのドライバの選択」画面が表示されたら、「場所」が〔D:\XL1200E\WIN9X_ME\XL12EW9X.INF〕（CD-ROMドライブがD：の場合）のドライバを選択し、〔OK〕をクリックします。



⑤プリンタ名および通常使うプリンタにするかどうかを設定し、〔完了〕をクリックします。

ファイルのコピーが開始されます。



⑥必要なソフトウェアがインストールされたことを確認し、〔完了〕をクリックします。

「8. ステータスモニタをインストールします」（P.55）へ進みます。



⑦〔プリンタソフトウェア CD-ROM〕をセットし、〔ファイルのコピー元〕に「D：¥XL1200E¥WIN9X_ME」（CD-ROMドライブがD：の場合）と入力し、〔OK〕をクリックします。

ファイルのコピーが開始されます。

「8. ステータスモニタをインストールします」（P.55）へ進みます。

6.

Windows 98

Windows 98をお使いの方だけご覧ください。

画面の指示に従って、プリンタドライバディスクをセットします。

USB ドライバをセットアップします。



① 〔新しいハードウェアの追加ウィザード〕が表示されたら、〔次へ〕をクリックします。

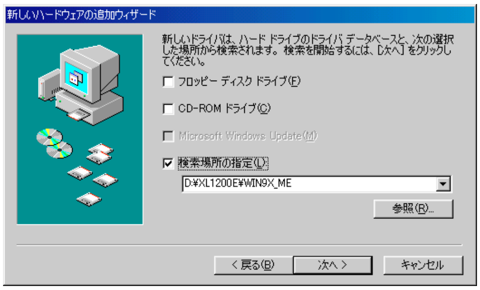
〔ディスクの挿入〕が表示されたら、手順⑬へ進みます。



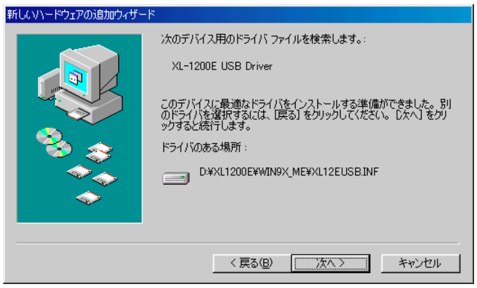
② 〔使用中のデバイスに最適なドライバを検索する（推奨）〕を選択し、〔次へ〕をクリックします。

③ 「プリンタソフトウェア CD-ROM」をセットします。

④ 〔検索場所の指定〕に「D：￥XL1200E￥WIN9X_ME」（CD-ROM ドライブがD：の場合）と入力し、〔次へ〕をクリックします。



4



⑤「次のデバイス用のドライバファイルを検索します。：XL-1200E USB Driver」と表示されていることを確認し、〔次へ〕をクリックします。

ファイルのコピーが開始されます。

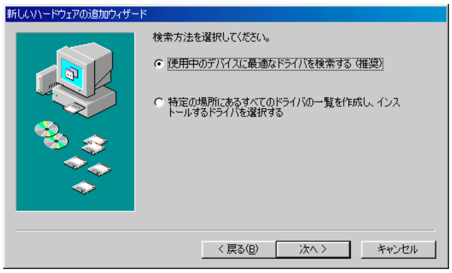


⑥必要なソフトウェアがインストールされたことを確認し、〔完了〕をクリックします。

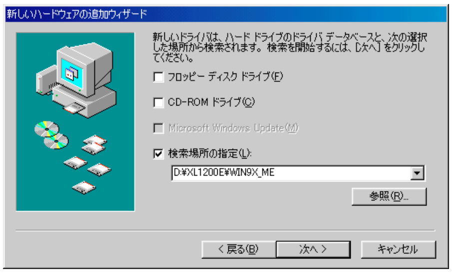
引き続き、USBケーブルに接続しているプリンタを自動的に検出します。



⑦「次の新しいドライバを検索しています：FUJITSU XL-1200E」と表示されていることを確認し、〔次へ〕をクリックします。



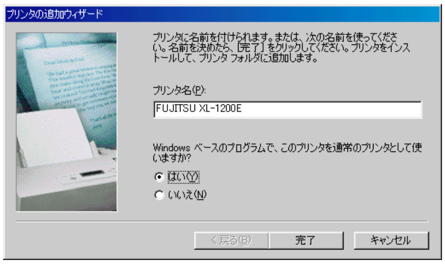
⑧〔使用中のデバイスに最適なドライブを検索する（推奨）〕を選択し、〔次へ〕をクリックします。



⑨〔検索場所の指定〕にチェックを付け、「D：¥XL1200E¥WIN9X_ME」（CD-ROM ドライブが D：の場合）と入力し、〔次へ〕をクリックします。



⑩このデバイスに最適なドライバをインストールする準備ができたことを確認し、〔次へ〕をクリックします。



⑪プリンタ名および通常使うプリンタにするかどうかを設定し、〔完了〕をクリックします。

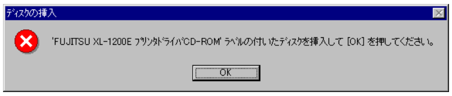
ファイルのコピーが開始されます。



⑫〔完了〕をクリックします。

「8. ステータスモニタをインストールします」（P.55）へ進みます。

4



⑬「ディスクの挿入」画面が表示されたら、〔プリンタソフトウェア CD-ROM〕をセットし、〔OK〕をクリックします。



⑭〔ファイルのコピー元〕に「D:¥XL1200E¥WIN9X_ME」（CD-ROM ドライブがD：の場合）と入力し、〔OK〕をクリックします。

ファイルのコピーが開始されます。

「8. ステータスモニタをインストールします」(P.55)へ進みます。

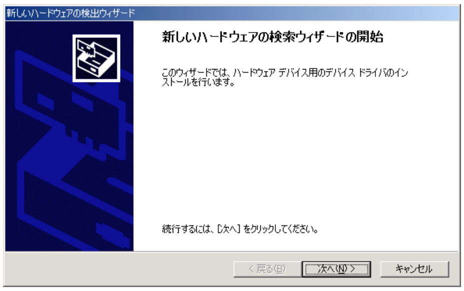
7.

Windows 2000 Windows 2000をお使いの方だけご覧ください。

画面の指示に従って、プリンタドライバディスクをセットします。

USB ドライバをセットアップします。

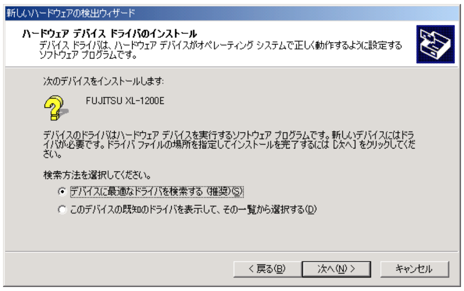
注 **Administratorの権限でログインしていることを確認してください。**



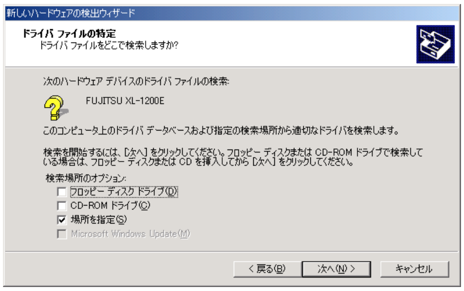
①〔新しいハードウェアの検出ウィザード〕画面が表示されたら、〔次へ〕をクリックします。

画面が表示されるのに１～２分間かかることがあります。

画面が表示されないときはプリンタフォルダを確認し、プリンタが作成されている場合は「8. ステータスモニタをインストールします」（P.55）へ進みます。

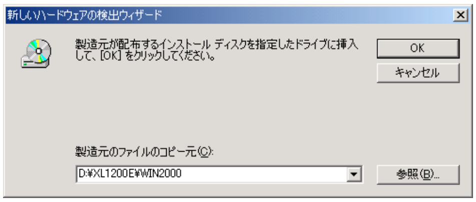


②「次のデバイスをインストールします: FUJITSU XL-1200E」と表示されていることを確認します。
〔デバイスに最適なドライバを検索する(推奨)〕を選択し、〔次へ〕をクリックします。

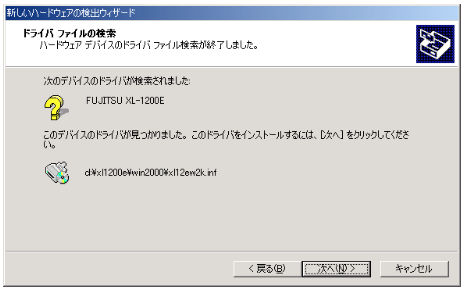


③〔場所を指定〕を選択し、〔次へ〕をクリックします。

④「プリンタソフトウェア CD-ROM」をセットします。



⑤〔製造元のファイルのコピー元〕に「D：¥XL1200E¥WIN2000」(CD-ROM ドライブがD：の場合）と入力し、〔OK〕をクリックします。

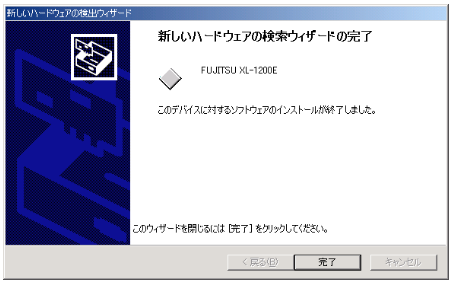


⑥「次のデバイスのドライバが検索されました：FUJITSU XL-1200E」と表示されていることを確認し、〔次へ〕をクリックします。



⑦「デジタル署名が見つかりませんでした」画面で、〔はい〕をクリックします。

ファイルのコピーが開始されます。



⑧「新しいハードウェアの検索ウィザードの完了」画面で〔完了〕をクリックします。

⑨通常使うプリンタに設定する場合には〔スタート〕-〔設定〕-〔プリンタ〕を選択し、〔FUJITSU XL-1200E〕アイコンを右クリックし、〔通常使うプリンタに設定〕を選択します。

「8. ステータスモニタをインストールします」（P.55）へ進みます。

8. ステータスモニタをインストールします。

注 プリンタドライバのインストールを完了してから実行してください。

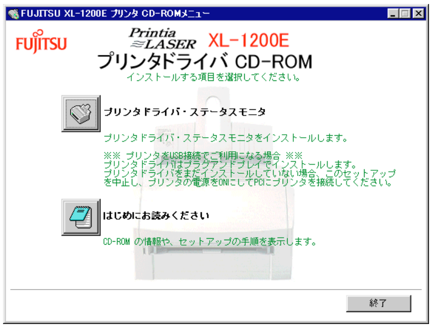
① 〔スタート〕-〔ファイル名を指定して実行〕を選択します。

② 〔名前〕に「D：\SETUP」（CD-ROM ドライブがD：の場合）と入力し、〔OK〕をクリックします。

③ 「富士通 Printia LASER シリーズセットアップ」が起動しますので、「FUJITSU XL-1200E」を選択して、〔OK〕をクリックします。



④ 「FUJITSU XL-1200E プリンタCD-ROMメニュー」で、〔プリンタドライバ・ステータスモニタ〕をクリックします。



⑤ 「FUJITSU XL-1200Eのインストールにようこそ」画面が表示されたら、〔次へ〕をクリックします。





⑥「インストールするプログラムの選択」画面で、〔ステータスモニタ〕のみにチェックを付け、〔次へ〕をクリックします。



⑦プリンタドライバが２つ以上インストールされている場合に表示されます。
ステータスモニタを表示させるプリンタの選択はインストール後に行うので、そのまま〔次へ〕をクリックします。



⑧「ステータスモニタのフォルダ指定」画面で、プログラムフォルダ名を確認し、〔次へ〕をクリックします。

ファイルのコピーが開始されます。



⑨「セットアップの完了」画面が表示されたら、「はい、直ちにコンピュータを再起動します」を選択し、〔終了〕をクリックします。

コンピュータが再起動すると、セットアップは終了です。

注 **本ダイアログは、他のダイアログに隠れている場合があります。隠れている場合は、セットアップダイアログのどこかをクリックしてください。**

1. 用紙サイズ、印刷の向き、給紙方法を設定します。

印刷に必要な設定を行います。各項目の詳細は、「プリンタドライバの主な機能」（P.76）を参照してください。

MEMO

- **Windows Meでは、〔マイコンピュータ〕→〔コントロールパネル〕→〔プリンタ〕→〔FUJITSU XL-1200E〕アイコンを右クリックし、〔プロパティ〕→〔用紙〕タブを選択します。**
- **Windows 98/95では、〔マイコンピュータ〕→〔プリンタ〕→〔FUJITSU XL-1200E〕アイコンを右クリックし、〔プロパティ〕→〔用紙〕タブを選択します。**
- **Windows NT4.0では、〔マイコンピュータ〕→〔プリンタ〕→〔FUJITSU XL-1200E〕アイコンを右クリックし、〔ドキュメントの既定値〕を選択します。**
- **Windows 2000では、〔マイコンピュータ〕→〔コントロールパネル〕→〔プリンタ〕→〔FUJITSU XL-1200E〕アイコンを右クリックし、〔印刷設定〕を選択します。**

用紙サイズ
使用する用紙サイズを選択します。[用紙追加]をクリックすると、ユーザ定義用紙を登録しておくことができます。

印刷の向き
印刷の向きを選択します。

給紙方法
給紙方法を選択します。手差し印刷を行うときには、「手差し」を選択してください。



〔用紙〕タブでは、用紙厚、印刷順序、部数などの設定もできます。

2. Windows から印刷します。

印刷方法はアプリケーションによって異なります。詳しくは、各アプリケーションのマニュアルをご覧ください。

MEMO

- **アプリケーションの印刷メニューでプリンタの設定を行った場合は、アプリケーションでの設定が優先されます。**
- **ギザギザのないきれいな文字を印刷するために、MS明朝、MSゴシックなどのTrue Typeアウトラインフォントを指定してください。**
- **プリンタドライバ、ステータスモニタについての詳細は「Windows Me/98/95/NT4.0/2000プリンタソフトウェアについて」（P.74）をご覧ください。**

トナーカートリッジを交換する

トナーカートリッジ交換の目安

トナーが少なくなると、パソコンに〔トナー交換です〕のメッセージが表示されます。新しいトナーカートリッジに交換してください。
お使いの環境によっては、メッセージが表示される前に印刷が薄くなることもあります。このようなときは、カートリッジを外して、カートリッジ内のトナーを確認し、空の場合は新しいトナーカートリッジに交換してください。
トナーカートリッジ交換の目安は、5%の印刷密度（1ページの印刷可能領域でトナーのついている面積の割合）の場合、A4サイズの用紙で約1,500枚です。ただし、新しいプロセスカートリッジに1本目のトナーカートリッジを取りつけたときの寿命は約600枚になります。

トナーカートリッジセットの確認

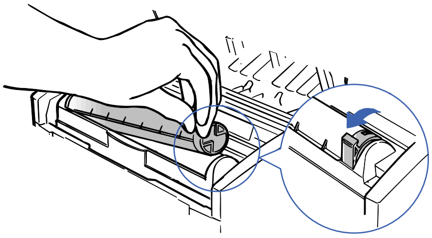
トナーカートリッジセットには、トナーカートリッジ、LEDレンズクリーナが入っています。

1. プリンタの電源をオフにし、アッパーカバーを開きます。



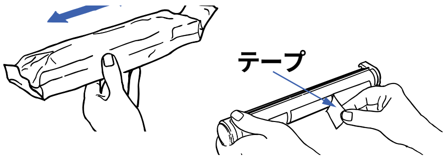
カバーを開くと、「高温注意」のラベルが見えます。この部分は非常に熱くなっていますので、決して触らないでください。

2. 使用済みのトナーカートリッジを取り出します。



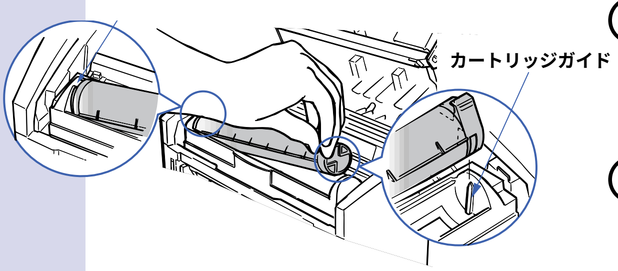
① 右側のノブを矢印方向（手前）いっぱいに止まるまで回します。
② ノブを持ち上げて、取り出します。
③ 使用済みのカートリッジは、無償で回収しております。手順3で残った包装袋に包んだ状態で『エコ受付センター』（94ページ）までご連絡ください。回収便にて引き取りにうかがいます。

3. 新しいトナーカートリッジを用意します。



① 新しいトナーカートリッジを、左右に数回振ります。
② 包装袋からトナーカートリッジを取り出します。
③ トナーカートリッジを水平にして、白いテープをゆっくりとはがします。

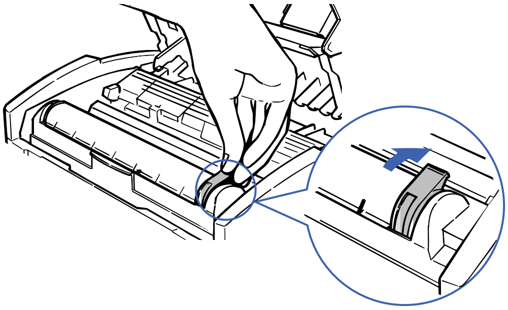
4. トナーカートリッジをセットします。



① テープをはがした面を下にしてトナーカートリッジをカートリッジ押さえの下に入れます。

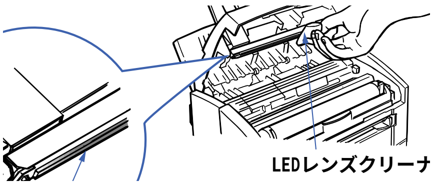
② 右側の溝をプロセスカートリッジのカートリッジガイドに合わせ、しっかりと押し込みます。

5. トナーカートリッジのノブを回します。



トナーカートリッジのノブ（灰色）を矢印方向いっぱいに止まるまで回します。

6. LED ヘッドを清掃します。



LED レンズクリーナで、LED ヘッドの細長いレンズを軽く拭きます。

MEMO

- **LED レンズクリーナは、別売の交換用トナーカートリッジに添付されています。**
- **LED ヘッド面が汚れていると、印刷時にかすれや白いすじが入ったり、文字がにじんだりします。**

7. アッパーカバーを閉じます。

両手でアッパーカバーの両端をカチッと音がするまで押して確実に閉めてください。

注

トナーカートリッジ取り付け後に印刷する場合、「トナーカートリッジの交換」メッセージが表示されることがあります。故障ではありません。数枚印刷すると表示されなくなります。

プロセスカートリッジを交換する

プロセスカートリッジ交換の目安

プロセスカートリッジが寿命に近づくと、パソコンに〔プロセスカートリッジ寿命です〕のメッセージが表示されます。新しいプロセスカートリッジに交換してください。

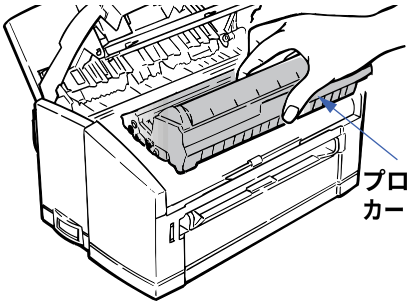
プロセスカートリッジ交換の目安は、A4サイズの用紙で約10,000枚です。ただし、約10,000枚というのは、A4サイズを連続印刷した場合の枚数です。一度印刷するとプロセスカートリッジは空回転をするため、一度に1枚ずつ印刷する場合、プロセスカートリッジの枚数の寿命は約半数になります。

1. プリンタの電源をオフにし、アッパーカバーを開きます。



カバーを開くと、「高温注意」のラベルが見えます。この部分は非常に熱くなっていますので、決して触らないでください。

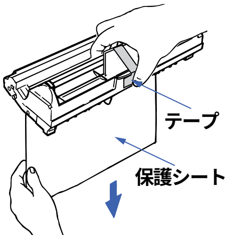
2. 使用済みのプロセスカートリッジを取り出します。



MEMO

- **プロセスカートリッジを取り出すと、取り付けられているトナーカートリッジも一緒に取り出されます。**
- **使用済みのプロセスカートリッジとトナーカートリッジは、無償で回収しております。取り扱いについては、『エコ受付センター』(94ページ)までご連絡ください。**

3. 新しいプロセスカートリッジを用意します。



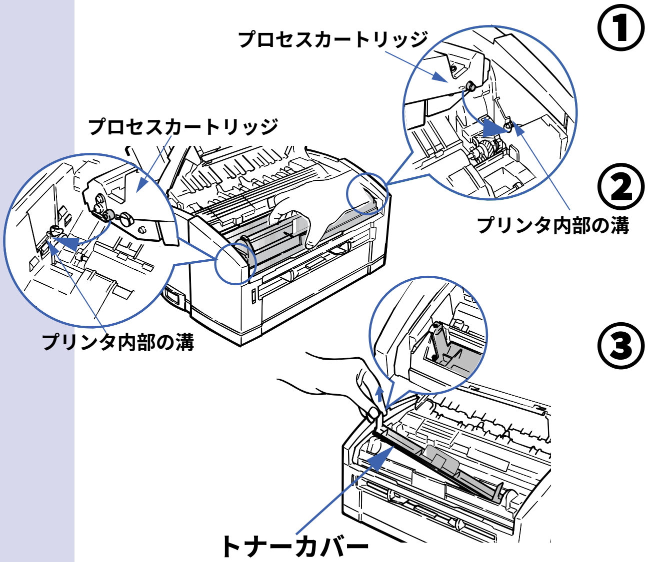
① 新しいプロセスカートリッジを包装箱から取り出します。

② 白いテープをはがし、保護シートを引き抜きます。

注

- **感光ドラム（緑の筒の部分）は、非常に傷つきやすいため、取り扱いには十分注意してください。**
- **プロセスカートリッジを直射日光や強い光（約1500ルクス以上）に当てないでください。室内の照明の下でも5分以上放置しないでください。**

4. プロセスカートリッジをセットします。



① プロセスカートリッジの両側にある突起をプリンタ内部の溝に合わせて挿入します。

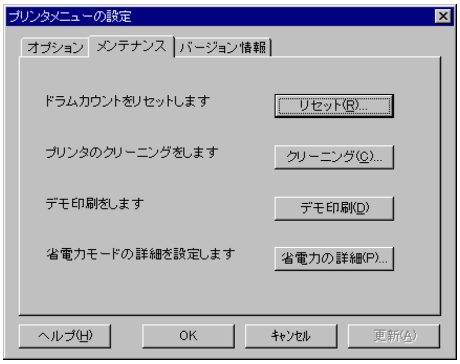
② プロセスカートリッジの左右を下方向に押します。
カチッと音がして固定されます。

③ トナーカバーを左側からゆっくりと取り外します。

5. トナーカートリッジを取りつけ、LED ヘッドを清掃します。

詳細は「トナーカートリッジを交換する」（P.60）をご覧ください。

6. ドラムカウントをクリアします。



① 〔スタート〕→〔プログラム〕→〔FUJITSU XL-1200E〕→〔XL-1200E ステータスモニタ〕をクリックします。

② 〔FUJITSU XL-1200E ステータスモニタ〕画面右上□アイコンをクリックし、最大化します。

③ 〔プリンタの設定〕タブ→〔メニュー設定〕→〔メンテナンス〕タブの〔リセット〕をクリックします。

④ 確認のダイアログが表示されるので、〔OK〕をクリックします。

注 **プロセスカートリッジを交換したとき以外は、この操作は行なわないでください。誤って行なうとプロセスカートリッジ寿命が正しく表示されません。**

5

プリンタを清掃する

注 プリンタを清掃するときには、次の点に注意してください。
- 必ず電源スイッチを切り、電源コードを抜いてください。
- 水または中性洗剤以外は、絶対に使用しないでください。
- 本プリンタは油をさす必要はありません。注油しないでください。

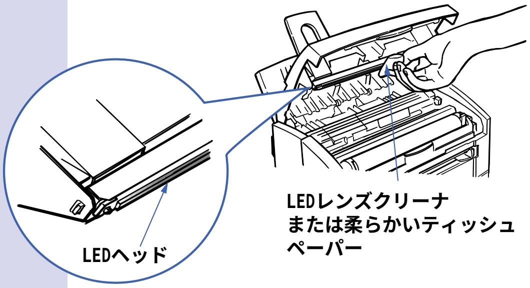
LED ヘッドの清掃

1. プリンタの電源をオフにし、アッパーカバーを開きます。



カバーを開くと、「高温注意」のラベルが見えます。この部分は非常に熱くなっていますので、決して触らないでください。

2. LED レンズクリーナまたは柔らかいティッシュペーパーで、LED ヘッドを軽く拭きます。

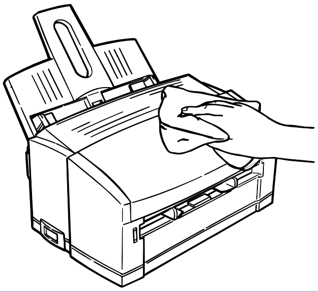


給紙方向に縦にかすれる、白いスジがはいる、文字や黒い部分の輪郭が、にじむ場合は、LEDヘッドを清掃してください。

注
- LED レンズクリーナは、別売の交換用トナーカートリッジに添付されています。
- メチルアルコールやシンナーなどの溶剤は、レンズ面を痛めますのでお使いにならないでください。

プリンタの表面の清掃

1. プリンタの電源をオフにし、プリンタの表面を拭きます。



① 水または中性洗剤を含ませてかたく絞った布で拭きます。

② 柔らかい乾いた布で拭きます。

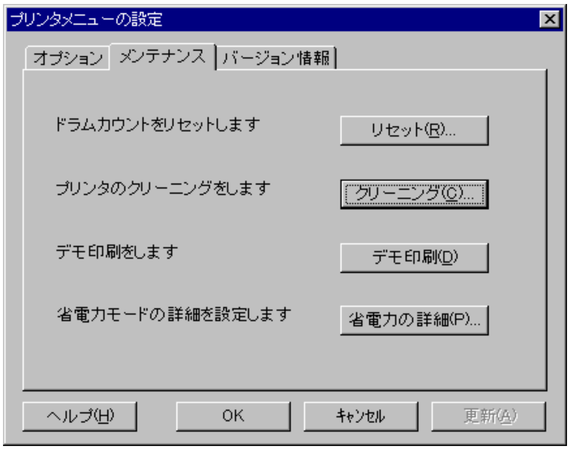
クリーニングページ

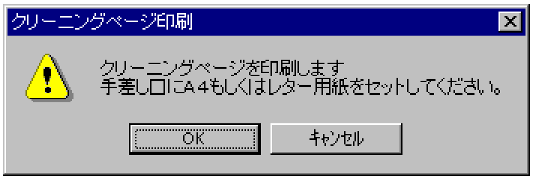
プリンタ内部のローラーに付着した汚れを取り除きます。次のような場合に行ってください。

- 周期的な黒点や黒・白斑点が入る場合
- ハガキへの印刷中や印刷後に、印刷開始位置がずれる場合

注

・必ずA4またはレターサイズの白紙を使用してください。
・用紙フィーダにセットされた用紙を取り除き、手差し口に用紙をセットしてからクリーニングページを行ってください。





① A4 またはレターサイズの用紙を手差し口にセットします。

② ②〔スタート〕→〔プログラム〕→〔FUJITSU XL-1200E〕→〔XL-1200E ステータスモニタ〕をクリックします。

③ 〔FUJITSU XL-1200E ステータスモニタ〕画面右上アイコンをクリックし、最大化します。

④ 〔プリンタの設定〕タブ→〔メニュー設定〕→〔メンテナンス〕タブの〔クリーニング〕をクリックします。

⑤ 手差し口に用紙がセットされていることを確認し、〔クリーニングページ印刷〕ダイアログで〔OK〕をクリックします。

MEMO

手差し口に用紙をセットせずに〔OK〕をクリックすると、プリンタはエラー状態（用紙なし）になりますが、パソコンから復旧させることはできません。この場合は、プリンタのアッパーカバーの開閉を行ってから、再度クリーニングを行ってください。

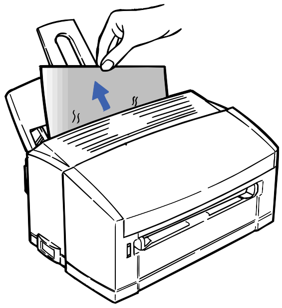
5

エラーが発生した場合は、画面に表示されるメッセージにしたがって処理を行ってください。

メッセージ通りの処置やここで説明する処置をしても良くならない場合は、ご購入元または「富士通パーソナル製品に関するお問い合せ窓口」へご連絡ください。メッセージが表示される場合は、その内容または4桁のコードを併せてご連絡ください。

紙づまりが起こったとき

給紙口でつまったとき



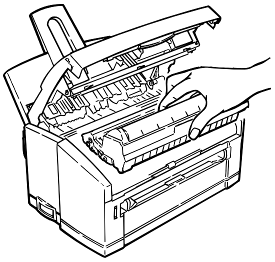
用紙を上方向にそっと引いて取り出します。

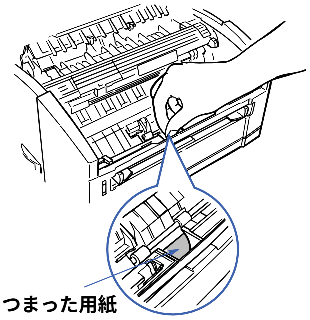
プリンタ内部でつまったとき

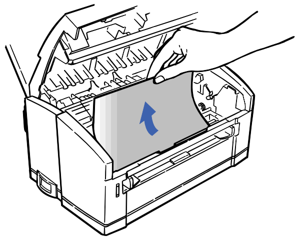
① プロセスカートリッジを取り出します。

② 用紙を上方向にそっと引いて取り出します。

③ つまった用紙を用紙つまみ口から引っ張り出します。

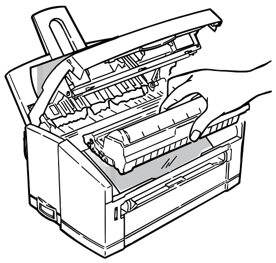




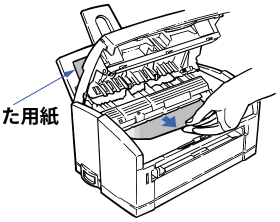


排出口でつまったとき

① プロセスカートリッジを取り出します。



② つまった用紙をプリンタ内部側にそっと引いて取り出します。



注

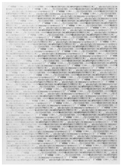
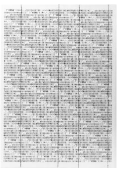
排出口で紙づまりが起きたとき、後ろにつまった用紙が見えている場合でもプリンタ内部側に用紙を引き抜いてください。後ろに引き抜くと、定着器の分離爪を傷めるおそれがあります。

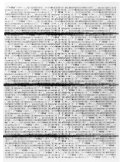
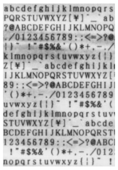
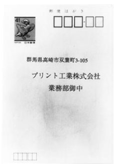
用紙送りに異常が出るとき

注 用紙送り性能は、プリンタが設置してある環境､用紙の保管状態によって、大きく違ってきます。適切な温度、湿度でお使いください。

現　象	原　因	処　置	参照
紙づまりが頻繁に発生する。	用紙が厚すぎるか薄すぎます。	プリンタに合った用紙をお使いください。	90
	用紙に湿気が含まれています。	適切な温度、湿度で保管した用紙をお使いください。	90
	用紙に折り目やしわがあります。	プリンタに合った用紙をお使いください。 適切な温度、湿度で保管した用紙をお使いください。	90
	一度印刷した用紙を使用しています。	両面印刷はできません。新しい用紙をお使いください。	-
	用紙を1枚だけセットしています。	用紙を数枚セットしてください。	-
用紙が2枚以上一緒に引き込まれる。	用紙フィーダにセットしている用紙の枚数が多すぎます。	正しい枚数をセットし直してください。	18
	用紙が厚すぎるか薄すぎます。	プリンタに合った用紙をお使いください。	90
	用紙が静電気を帯びています。	適切な温度、湿度で保管した用紙をお使いください。	90
	用紙がまっすぐにセットされていません。	用紙を正しくセットし直してください。	18
	一度印刷した用紙を使用しています。	両面印刷はできません。新しい用紙をお使いください。	-
	用紙が入ったまま用紙を追加しています。	先に入っている用紙を取り出し、揃えてから再度セットしてください。	18
極端に用紙がまるまってしまう。	用紙に湿気が含まれています。	適切な温度、湿度で保管した用紙をお使いください。	90
	薄い用紙を使用しています。	プリンタドライバで用紙厚を〔薄い紙〕にしてください。	76
	用紙の保管状態が良くありません。	用紙は乾燥した場所に平らに保管してください。	90
用紙が斜めに入ってしまう。曲がって印刷されてしまう。	用紙がまっすぐにセットされていません。	用紙を正しくセットし直してください。	18
ハガキに印刷するとカールが発生する。	厚い用紙に印刷するとカールが発生します。	プリンタの実力ですので、ご了承ください。	-
ハガキで縦折れ線がでることがあります。	ハガキに湿気が含まれています。	適切な温度、湿気で保管したハガキをお使いください。	90 91
手差し印刷をすると紙づまりになってしまう。	用紙が正しくセットされていません。	プリンタが用紙を引き込むまで、用紙から手を離さないでください。	19

印刷が不鮮明なとき

現　象	原　因	処　置	参照
 給紙方向に縦の白いスジが入る。給紙方向に縦にかすれる。	LEDヘッドが汚れています。	LEDヘッドの表面をLEDレンズクリーナまたは柔らかいティッシュペーパーで拭いてください。	64
	トナーが少なくなっています。	トナーカートリッジを交換してください。	60
	異物がつまっています。	プロセスカートリッジを交換してください。	62
 部分的にかすれる。	LEDヘッドが汚れています。	LEDヘッドの表面をLEDレンズクリーナまたは柔らかいティッシュペーパーで拭いてください。	64
	トナーが少なくなっています。	トナーカートリッジを交換してください。	60
	用紙がプリンタに適していません。	プリンタに合った用紙をお使いください。	90
 黒ベタを印刷すると、部分的に薄くなる。	黒ベタ印刷にトナーを十分供給できない場合があります。	黒ベタの割合を減らしてください。	-
 印刷が非常に薄い。	トナーカートリッジがきちんとセットされていません。	トナーカートリッジの白いテープをはがします。ノブをいっぱいに止まるまで回します。	60
	プロセスカートリッジがきちんとセットされていません。	プロセスカートリッジの左右を下方向に押してきちんと固定します。	62
	トナーが少なくなっています。	トナーカートリッジを交換してください。	60
	用紙に湿気が含まれています。	適切な温度、湿度で保管した用紙をお使いください。	90
	ハガキの両面に印刷しました。	両面に印刷すると印刷が薄くなるのはプリンタの特性ですのでご了承ください。	-
 給紙方向に縦の黒いスジ状の汚れが出る。	用紙がプリンタに適していません。	プリンタに合った用紙をお使いください。	90
	プロセスカートリッジに傷がついています。	プロセスカートリッジを交換してください。	62
	トナーが少なくなっています。	トナーカートリッジを交換してください。	60

現　象	原　因	処　置	参照
 周期的に黒点や黒・白斑点が入る。	50mm周期の場合は、感光ドラムに傷または汚れがついています。	傷の場合は、プロセスカートリッジを交換してください。 汚れの場合は、クリーニングページを行ない、それでも直らないときは、柔らかいティッシュペーパーで軽く拭き取ってください。	62 65
	63mm周期の場合は、定着器に傷がついています。	富士通パーソナル製品に関するお問い合せ窓口にご連絡ください。	98
	20mm周期の場合は、プロセスカートリッジ内にゴミが混入しています。	クリーニングページを行ってください。	65
	感光ドラムが光にさらされました。	アッパーカバーを閉じたまま数時間プリンタを使用しないでください。それでも直らない場合は、プロセスカートリッジを交換してください。	62
 白地の部分が薄く汚れる。	用紙が静電気を帯びています。	適切な温度、湿度で保管した用紙をお使いください。	90
	用紙が厚すぎます。	プリンタに合った用紙をお使いください。	90
	トナーが少なくなっています。	トナーカートリッジを交換してください。	60
	プロセスカートリッジがきちんとセットされていません。	プロセスカートリッジ左右を下方向に押してきちんと固定してください。	62
 文字の周辺がにじむ。	LEDヘッドが汚れています。	LEDヘッドの表面をLEDレンズクリーナまたは柔らかいティッシュペーパーで拭いてください。	64
	アッパーカバーがきちんと閉じていません。	両手でアッパーカバーの左右をきちんと押してください。	61
 ハガキに印刷すると薄く汚れる。	ハガキに印刷すると表面あるいは裏面に薄くトナーが付着（かぶり）することがあります。	プリンタの実力ですので、ご了承ください。	-
印刷面が汚れ、イメージがはっきりと印刷されない。裏面が汚れる。	トナーが少なくなった場合や、長期（1年以上）にわたって極端にトナーの使用量が少なかった場合に、用紙の印刷面や裏面が汚れることがあります。	トナーカートリッジを交換し、印刷を行ってください。 徐々に印刷結果が良好となります。 プリンタの故障ではありません。	60

6

故障かな？と思ったとき

現　象	原　因	処　置	参照
電源が入らない。	電源コードが抜けています。	プリンタの電源スイッチをオフにして電源コードをしっかり差し込んでください。	15
	停電しています。	お使いのコンセントだけ停電していることもあります。ブレーカーが落ちていないか確認してください。	-
全くデータを受信しない。	プリンタケーブルが抜けています。	プリンタケーブルが外れていないか確認してください。	26 46
	プリンタケーブルの規格が合っていません。	IEEE1284に準拠したプリンタケーブルまたはUSB1.1準拠のUSBケーブルを使用しているか確認してください。	25 44
印刷データが欠ける。	プリンタケーブルが断線しています。	プリンタケーブルを替えてください。	25 44
	印刷に必要なデータサイズが大きすぎます。	・データを簡単にする ・ページを分けて印刷する ・300dpiの解像度を指定する などの処理を行い、印刷データのサイズを小さくしてください。	79
すぐに印刷を開始しない。	省電力モードからの復帰中です。	故障ではありません。ウォーミングアップに必要な時間です。省電力モードを〔8分後から〕等に変えてください。	86
ウォーミングアップ動作が長い。	省電力モードからの復帰中です。	ウォーミングアップが終了するまでお待ちください。	-
	定着器の温度を調整しています。	用紙に最適な温度に制御しています。	-
低解像度で印刷される。	プリンタメモリが少ない。	データを簡単にしてください。300dpiに指定してください。	79
	データが複雑です。	データを簡単にしてください。	-
つまった用紙を取り除いてもプリンタが復旧しない。	用紙を取り除くだけでは復旧しません。	アッパーカバーを開閉してください。	-
異音がする。	プリンタ内部に用紙くずやクリップなどの異物があります。	プリンタ内部を点検してください。	-
「トナーセンサーが異常です」と表示される。	プロセスカートリッジがセットされていません。	プロセスカートリッジをセットしてください。	62
アッパーカバーが熱い。	トナーを熱で定着しています。	異常ではありません。触れられないくらい熱くなったときは、富士通パーソナル製品に関するお問い合せ窓口へご連絡ください。	98

現　象	原　因	処　置	参照
テストパターン（横罫線）が印刷される。	アッパーカバーを開いたままプリンタの電源を入れ、その後にアッパーカバーを閉じるとテストパターンの印刷を行います。	これは保守を行うために用意されている機能です。故障ではありません。そのままご使用ください。	-
印刷を行っていないのに、LEDランプが速く点滅する。	アッパーカバーが開いています。	アッパーカバーを閉じてください。状態が変化しない場合は、プリンタの電源を入れ直します。それでも状態が変わらない場合は、富士通パーソナル製品に関するお問い合せ窓口へご連絡ください。	14 98

6

ソフトウェアの問題

注 用紙送り性能は、プリンタが設置してある環境、用紙の保管状態によって、大きく違ってきます。適切な温度、湿度でお使いください。

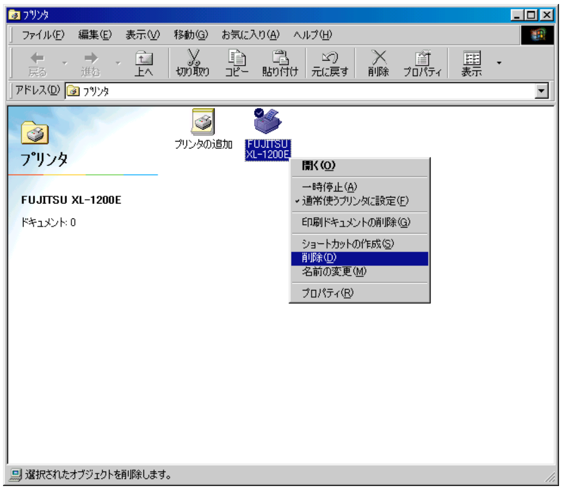
現　象	原　因	処　置	参照
パラレルでWindows Me/98/95/2000へプリンタドライバをインストールする場合に、新しいハードウェアが検出されない。	プリンタの電源が入っていません。	プリンタの電源を入れます。	16
	パソコンが双方向パラレルインタフェースをサポートしていません。	双方向パラレルインタフェースをサポートしているパソコンに替えてください。	-
	プリンタケーブルの規格が合っていません。	IEEE1284に準拠したプリンタケーブルを使用してください。	96
	プリンタケーブルが正しく接続されていません。	プリンタケーブルが正しく接続されているか確認してください。	26
	プリンタ、Windowsの順序で立ち上げていません。	プリンタ、Windowsの順序で電源を入れます。すでにWindowsが立ち上がっているときは、Windowsを再起動してください。	27
	ハードウェアの検出タイミングが合いません。	プリンタの追加でセットアップしてください。	36
USB接続でWindows Me/98/2000へプリンタドライバをインストールする場合に新しいハードウェアが検出されない。	プリンタの電源が入っていません。	プリンタの電源を入れます。	16
	Windows 95/3.1からWindows 98へアップグレードしたパソコンでは動作保証できません。	Windows 98をクリーンインストールしたパソコンをお使いください。	-
	パソコンがUSBインタフェースを搭載していません。	デバイスマネージャでUSBコントローラが表示されているか確認してください。	45
	USBケーブルの規格が合っていません。	USB1.1に準拠したケーブルを使用してください。	97
	USBケーブルが正しく接続されていません。	USBケーブルが正しく接続されているか確認してください。	46
Windows Me/98/95の〔印字テスト〕、またはWindowsNT4.0/2000の〔テストページの印刷〕ができない。	プリンタが正しく接続されていません。	ケーブルが正しく接続されているか確認してください。	26 46
ステータスモニタで「プリンタ接続エラー」と表示され、印刷できない。	プリンタの電源が入っていません。	プリンタの電源を入れます。すでに電源が入っている場合は、入れ直してください。	16

現　象	原　因	処　置	参照
ステータスモニタで「プリンタ接続エラー」と表示され、印刷できない。	電源コード、プリンタケーブルが接続されていません。	電源コード、プリンタケーブルを確実に接続してください。	15 26、36
	パソコンが双方向パラレルインタフェースをサポートしていません。	双方向パラレルインタフェースをサポートしているパソコンに替えてください。	-
	プリンタケーブルの規格が合っていません。	IEEE1284に準拠したプリンタケーブルまたはUSB1.1準拠のUSBケーブルを使用してください。	96 97
	出力ポートの設定が違っています。	XL-1200Eが接続されているポートを選択してください。COMポートはサポートしていません。	-
	切替器、バッファなどが接続されています。	プリンタとパソコンを直接接続してください。	-
全くデータを受信しない。	他のプリンタドライバが選択されています。	XL-1200Eのプリンタドライバを選択してください。	-
	プリンタドライバが正しくセットアップされていません。	プリンタドライバを削除し、セットアップし直してください。	24 74
他のプリンタドライバがインストールされていると、印刷できない。	双方向パラレルまたはUSBで動作する他のプリンタがパラレルポートまたはUSBポートを使用しています。	他のプリンタのプリンタドライバを削除してください。	-
メモリ不足になる。	プリンタジョブ用のメモリが不足しています。	使用していないアプリケーションを閉じてください。	-
印刷が遅い。	CPUの速度が遅い。	処理速度の速いPCを使用してください。	-
	600×1200dpi、または600dpiを指定しています。	300dpiを指定してください。データを簡単にしてください。	79
印刷部数、解像度などが設定通りに印刷されない。	データが複雑です。アプリケーション側での設定が優先されています。	印刷部数などの設定がアプリケーション側にある場合は、アプリケーションでの設定が優先となります。	-
文字がギザギサになる。	ビットマップフォントを指定しています。	TrueTypeなどのアウトラインフォントを指定してください。	-
他のプリンタから印刷される。	アプリケーション（ccMailなど）によっては独自のプリンタ選択を行っています。	アプリケーションのプリンタ設定でXL-1200Eを選択してください。	-
ステータスモニタが見えない。	ステータスモニタがアイコンの形式で最小化されています。	タスクバー上のステータスモニタのアイコンをダブルクリックしてください。	-
トナーがないのに〔トナー交換です〕のメッセージが表示されない。	ステータスモニタが起動していません。	ステータスモニタを起動してください。	83

Windows Me/98/95/NT4.0/2000 プリンタソフトウェアについて

プリンタドライバを削除するには

注 削除する前に必ず「XL-1200E ステータスモニタ」および起動している他のアプリケーションを終了させてください。



① Windows 98/95/NT4.0 では、〔マイコンピュータ〕→〔プリンタ〕→〔FUJITSU XL-1200E〕アイコンを右クリックし、〔削除〕を選択します。
また Windows Me/2000 では、〔マイコンピュータ〕→〔コントロールパネル〕→〔プリンタ〕→〔FUJITSU XL-1200E〕アイコンを右クリックし、〔削除〕を選択します。

② 〔プリンタの削除〕ダイアログで〔はい〕を選択します。

③ 削除完了後、再起動確認のダイアログが表示されます。
USB 接続している場合は〔いいえ〕を選択して以下の作業を行ってください。
それ以外の場合は〔はい〕を選択して Windows を再起動してください。

Windows Me/98 でUSB接続している場合

④ USB コネクタを外します。

⑤ 〔スタート〕-〔設定〕-〔コントロールパネル〕を選択します。

⑥ 〔アプリケーションの追加と削除〕をダブルクリックします。

⑦ 「XL-1200E USB Driver」を選択し、〔追加と削除〕をクリックします。

⑧ 以降、画面の指示に従い、Windows を再起動します。

Windows 2000　でUSB接続している場合

⑨　USB コネクタを外します。
⑩　〔スタート〕-〔設定〕-〔コントロールパネル〕を選択します。
⑪　〔ハードウェアの追加と削除〕をダブルクリックします。
⑫　〔次へ〕をクリックします。
⑬　ハードウェアに関する作業の選択画面で〔デバイスの削除 / 取り外し〕を選択し、〔次へ〕をクリックします。
⑭　削除操作の選択画面で〔デバイスの削除〕を選択し、〔次へ〕をクリックします。
⑮　非表示のデバイスの表示をチェックして〔USB 印刷サポート〕を選択し、〔次へ〕をクリックします。
⑯　削除確認のダイアログで〔はい〕を選択し、〔次へ〕をクリックします。
⑰　〔完了〕をクリックします。
⑱　Windows を再起動します。

MEMO

Readme.txtには、プリンタドライバを使用する上での、最新の注意事項が記述されています。必ずお読みください。

プリンタドライバの主な機能

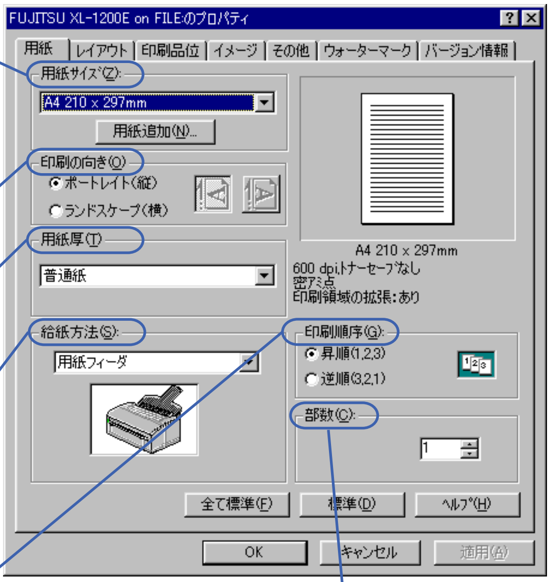
パソコンの画面からいろいろな印刷の設定ができます。

各画面には３つのボタンがあり、それぞれ以下のような機能を持っています。

全て標準　：プリンタ設定の全ての項目を標準値に戻します。
標準　　　：表示している画面の項目のみを標準値に戻します。
ヘルプ　　：表示ダイアログのヘルプを表示します。

●用紙

用紙サイズや給紙方法などを設定します。



用紙サイズ
用紙サイズを選択します。
ユーザ定義用紙は[用紙追加]ボタンをクリックして、設定できます。ここで定義されたサイズは、用紙サイズ一覧の最後尾に追加されます。最大で32の用紙サイズを登録することができます。

印刷の向き
印刷する用紙方向を指定します。

用紙厚
印刷する用紙の厚さを選択します。
用紙サイズを選択すると、自動的に最適なものが選択されます。

給紙方法
給紙方法を選択します。
用紙サイズ、用紙厚に応じて自動変動します。

印刷順序
最初のページまたは最後のページから印刷するかを設定します。

部数
印刷する部数を1〜99の範囲で設定します。

MEMO

- **「用紙サイズ」でA3→A4、B4→A4を選択した場合、印刷可能領域（余白領域）が変化します。**
- **用紙サイズを選択すると、自動的に最適な用紙厚が選択されます。印刷した用紙にしわが生じるときは、「薄い紙」の方へ、トナーの定着が悪いときは「厚い紙」の方へ設定を変えてください。変更した結果は記憶されます。出荷時の最適値に戻すには「標準」ボタンをクリックしてください。**

〔ユーザ定義サイズ〕

用紙サイズ一覧からユーザ定義サイズを選択すると、以下のダイアログが表示されます。



幅

90mm～215.9mmの範囲で任意に設定することができます。

長さ

148mm～297.0mmの範囲で任意に設定することができます。

単位

設定するサイズの長さの単位を選択します。

標準

値を幅210.0mm、長さ297.0mm、単位ミリの標準値に戻します。

MEMO **「長さ」が「幅」よりも短い場合、その設定は無効となります。**

〔ユーザ定義用紙〕

用紙タブで〔用紙追加〕ボタンをクリックすると、以下のダイアログが表示されます。



リスト

登録した用紙の「名称」「幅」「長さ」「単位」を表示します。
ここに表示される名称が用紙サイズ一覧に追加されます。

名称

登録する用紙名を半角12文字以内で入力します。（Windows NT4.0/2000の場合は、全半角12文字まで入力できます。）

幅

90mm～215.9mmの範囲で任意に設定することができます。

長さ

148mm～297.0mmの範囲で任意に設定することができます。

単位

設定する長さの単位を選択します。

削除

登録済みの用紙を選択すると有効になります。用紙を削除します。

変更

登録済み用紙の設定を変更すると有効になります。変更した内容で再度登録できます。

追加

「名称」に新規に入力すると有効になります。新規に用紙を登録すると、リスト内に追加されます。

MEMO **「長さ」が「幅」よりも短い場合、その設定は無効となります。**

●レイアウト

とじ代、マルチページの設定を行います。

とじ代

印刷文書を縮小して、上下左右のいずれかに0〜30mmの範囲でとじ代の幅を設定することができます。

単位

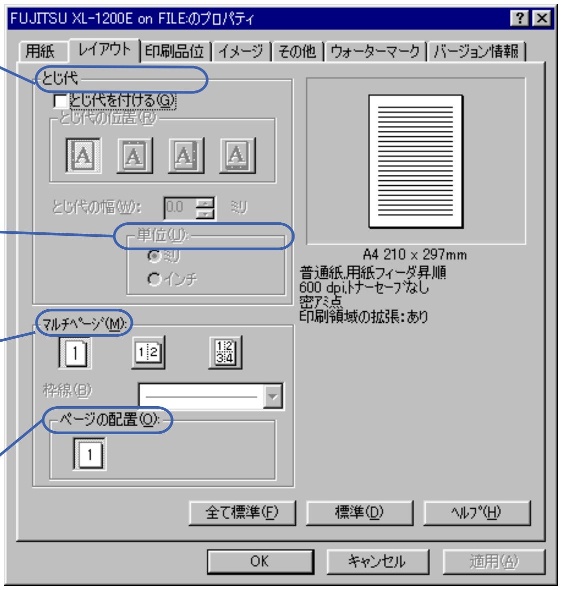
設定する幅の単位を選択します。

マルチページ

１枚の用紙に複数のページを縮小して印刷します。

ページの配置

割り付けるページの配置を選択します。



MEMO

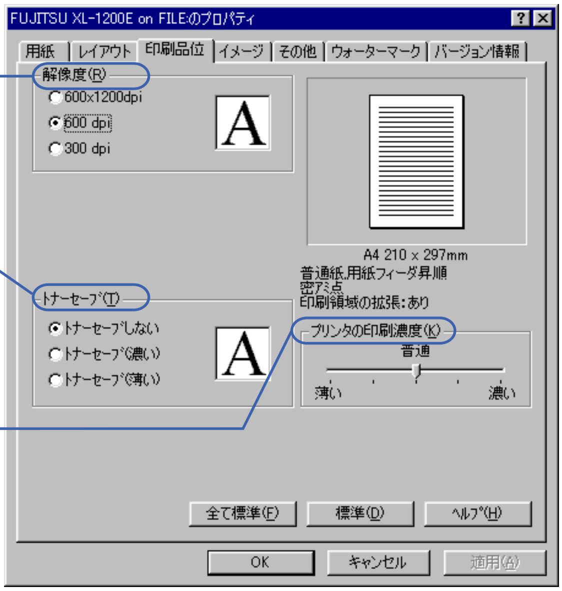
- **マルチページは次の用紙が選択されている場合に有効です。**

  A4、A5、A6、B5、レター

- **マルチページ機能は、1ページの印刷領域内に2ページまたは4ページ分のデータを縮小して印刷しているだけで、用紙の中央が正確に合わない場合があります。印刷可能領域（余白領域）が多少異なります。綴じ代などについても考慮されておりませんのでご了承ください。**
- **枠線は印刷用紙の印刷可能範囲いっぱいに描画されますが、1枚の用紙に印刷される各ページの印刷可能範囲は、枠線と等しくありません。**

●印刷品位

解像度、トナーセーブ、印刷濃度の設定を行います。



解像度

600×1200dpi、600dpi、300dpiを選択します。

トナーセーブ

印刷に使用するトナーの節約度合を設定します。トナーセーブしない、トナーセーブ（濃い）、トナーセーブ（薄い）を選択します。

プリンタの印刷濃度

ドラッグバーを使い、印刷するときの濃さを5段階で設定します。

注

トナーセーブの設定時には、印刷品質は保証できませんのでご注意ください。

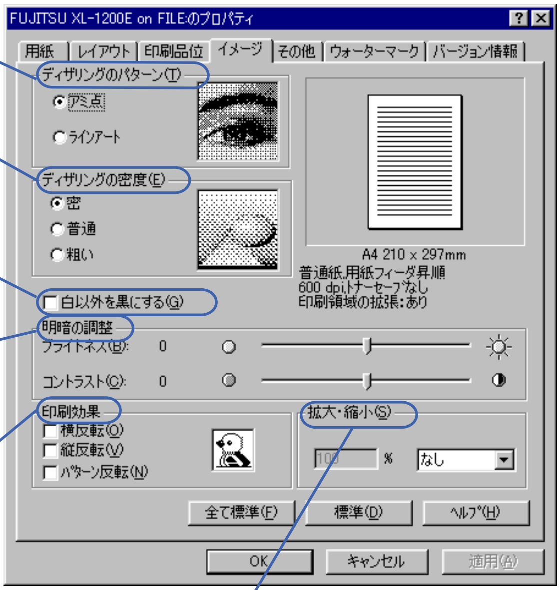
MEMO

プリンタドライバで〔600dpi×1200dpi〕、〔600dpi〕に設定した場合、複雑なグラフィックや写真などのイメージ、細かな文字を多く使用したページを印刷すると、まれにプリンタのメモリが不足することがあります。このような場合、メモリ不足を予測して、複雑なページに対して自動的に解像度を調整して印刷するオートマティックフォールダウン機能（自動低解像度印刷）が働きます。

複数のページを印刷した場合、オートマティックフォールダウン機能が働くのはメモリの不足が予測されるページのみであり、それ以外のページは設定した解像度で印刷されます。

●イメージ

ディザリング、明暗、拡大・縮小などの設定を行います。



ディザリングのパターン

中間色の表現方法を設定します。

ディザリングの密度

ディザパターンを作成するときのドットの密度を設定します。

白以外を黒にする

白以外の色で設定された文字やグラフィックをディザリングせずに黒色にします。

明暗の調整

ドラッグバーを使い、ブライトネス（イメージ全体の明るさ）とコントラスト（明暗の差）を設定します。

印刷効果

イメージを反転させる場合に選択します。

拡大・縮小

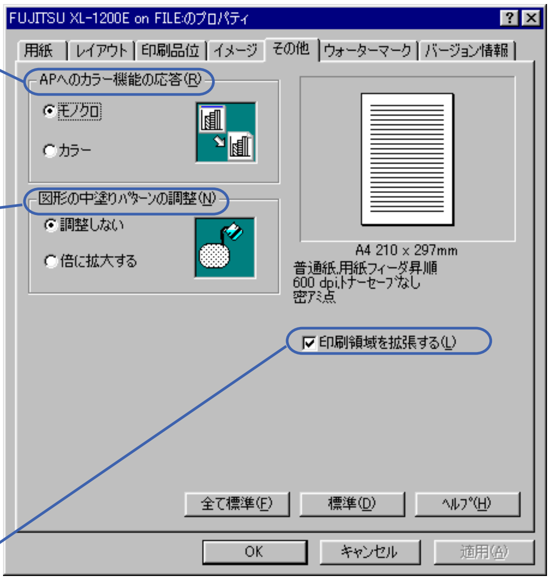
拡大・縮小率を入力するか、リストボックスにあらかじめ用意されている拡大縮小率（25%～400%）を選択します。直接入力する場合は〔カスタム〕を選択してください。

MEMO

- **拡大・縮小機能は印刷データを拡大・縮小するもので、用紙サイズは変更されません。必要に応じて印刷する用紙サイズを設定してください。拡大・縮小により、印刷可能領域（余白領域）も変化します。**
- **「拡大・縮小」を設定すると、アプリケーションによっては予期しない結果になる場合があります。正しく印刷できないときは、「なし」に設定してください。**
- **「解像度」「ディザリングのパターン」「ディザリングの密度」「明暗の調整」の設定によって、文書のグラフィックスの印刷結果が総合的に決まります。場合によっては、希望する結果が得られるまで、これらの項目にいろいろな設定をしてみる必要があります。**

●その他

AP へのカラー応答、中塗りパターンの調整を設定します。



APへのカラー機能の応答

プリンタのカラー処理情報を調べて、カラーデータの処理を変えるアプリケーションのための設定です。ディスプレイの表示に近い印刷結果を得るために使います。

図形の中塗りパターンの調整

ハッチブラシ、パターンブラシを使用した場合の密度を選択します。中塗りのパターンは、カラー表現のディザリングとは異なります。

「調整しない」
解像度に関係なくハッチブラシ、パターンブラシのパターンは、そのまま使います。

「倍に拡大する」
解像度に関係なくハッチブラシ、パターンブラシのパターンは、倍にして使います。

印刷領域を拡張する

チェックボックスが有効な場合（デフォルト）は、上下左右の余白サイズは5.08mmとなります。
また、チェックボックスが無効（チェックを外す）な場合は、上端/左端の余白サイズが6.35mm、左端/右端の余白サイズが7.0mmとなります。

注

- **XL-1200やXL-1200EドライバのV1.0.0版、XL-2110ドライバのV1.1.2版以前と同じ印刷領域仕様で利用する場合は、印刷領域の拡張なし(チェックを外す)としてください。**
  また、XL-1510やXL-2500、GLシリーズプリンタ、XLシリーズのA3機プリンタと同じ印刷領域仕様で利用する場合はデフォルト状態(チェックを行う)でそのままご使用ください。
- **各タブ上にある〔全て標準〕〔標準〕ボタンの操作により本機能の設定状態が標準に戻ることはありません。上記利用方法に合わせてドライバのインストール直後に1回だけ設定を実施することをお奨めします。**
- **余白領域に指定されたデータに対しては印刷結果が保証されません。余白サイズをアプリケーション側で設定可能な場合は、本装置の余白サイズ以上の値を設定してご使用ください。**

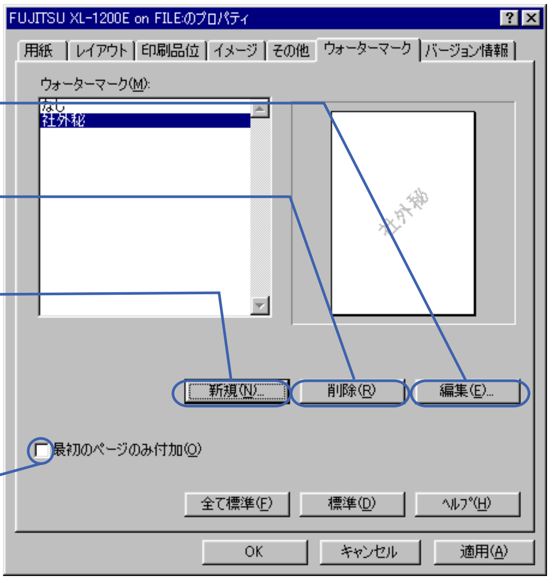
MEMO

- **図形の中塗りパターンの調整機能は、解像度が600×1200dpiのときには無効となります。**
- **印刷領域の詳細については、「印刷可能領域について」（P.87）を参照してください。**

付録

●ウォーターマーク

印刷結果にイメージ（ウォーターマーク）を重ね合せる場合に設定します。〔新規〕を選択すると、〔ウォーターマーク〕ダイアログが表示されます。

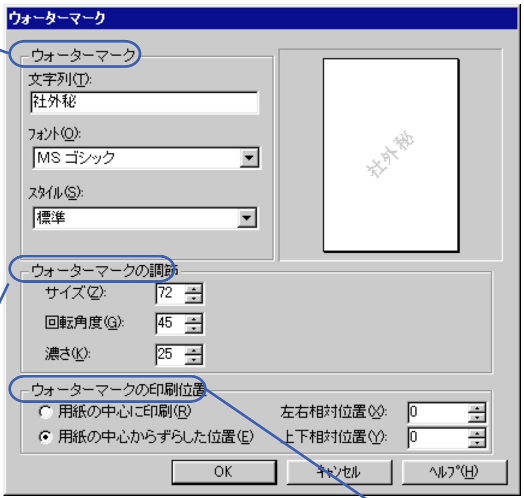


編集
登録したウォーターマークを編集します。

削除
登録したウォーターマークを削除します。

新規
文字列、フォント、スタイルなどを入力し、新規にウォーターマークを作成します。最大で16のウォーターマークを登録することができます。

最初のページのみ付加
チェックすると印刷する先頭ページのみウォーターマークを付加します。



ウォーターマーク
重ね合わせる文字列やそのフォント、スタイルを設定します。
「文字列」
重ね合せる文字列を指定します。
ここで指定した文字列が登録名となります。
最高で半角63文字（Windows NT4.0/2000の場合、全半角63文字）まで指定できます。
「フォント」
文字列のフォントを指定します。
「スタイル」
文字列のスタイルを指定します。

ウォーターマークの調節
文字列のサイズや傾き、色の濃さを設定します。
「サイズ」
文字列の文字サイズを1～600の範囲で指定します。
「回転角度」
文字列の傾きを0°～359°の範囲で指定します。0°で水平になります。
「濃さ」
ウォーターマークの濃さを0～100の範囲で指定します。0で白（印刷しない）、100で黒になります。

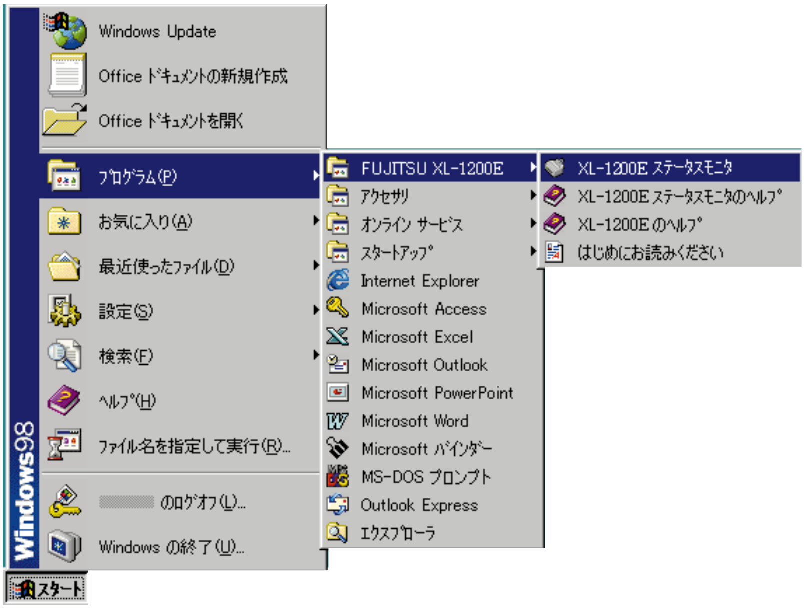
ウォーターマークの印刷位置
ウォーターマークの印刷位置を指定します。

ステータスモニタについて

パソコンの画面から、プリンタの状況の確認や、プリンタの設定などができます。

●起動方法

〔スタート〕→〔プログラム〕→〔FUJITSU XL-1200E〕→〔XL-1200E ステータスモニタ〕をクリックします。

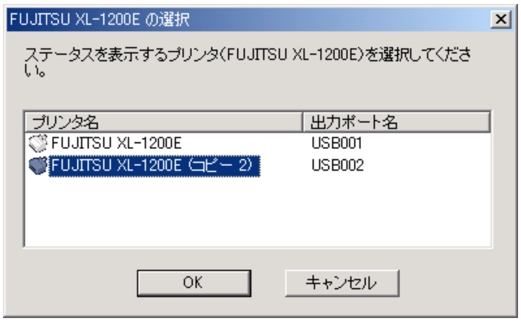


●ステータス表示プリンタ選択機能

USBでハブを使用して複数のプリンタに接続する場合、またプリンタポートとUSBポートに別のプリンタを接続する場合にパソコン上には複数のプリンタが存在します。

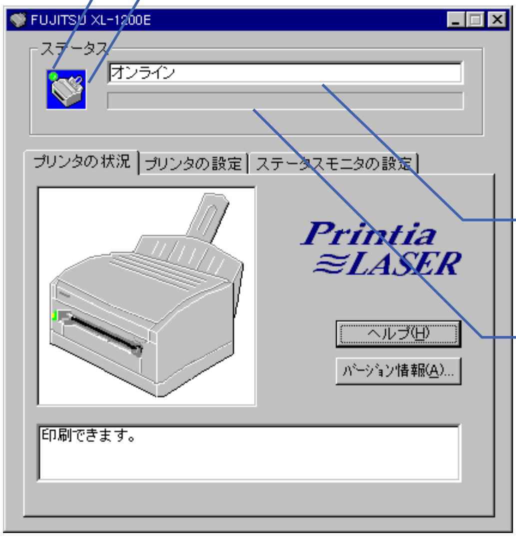
このとき、ステータスを表示するプリンタを選択する画面が表示されます。プリンタを選択し、〔OK〕をクリックすると選択されたプリンタが接続されているポートのステータスをモニタします。

例）USB で 2 つのポートに接続した場合



付録

●主な機能



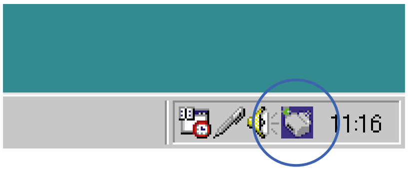
アイコンボタン
オンライン、オフラインを通知します。
緑：オンライン
赤：オフライン

ステータスアイコン
プリンタとの通信状態を通知します。
青：正常
黄・赤の点滅
：通信異常、またはプリンタがエラー状態

ステータスメッセージ
プリンタの状態を表示します。

プログレスバー
プリンタへのデータ転送状況を表示します。

ステータスモニタを起動すると、タスクバー内にもアイコンが表示され、ステータスアイコンと同じ状態を表示します。



●プリンタの状況

プリンタの状況を文字とグラフィックでわかりやすく表示します。

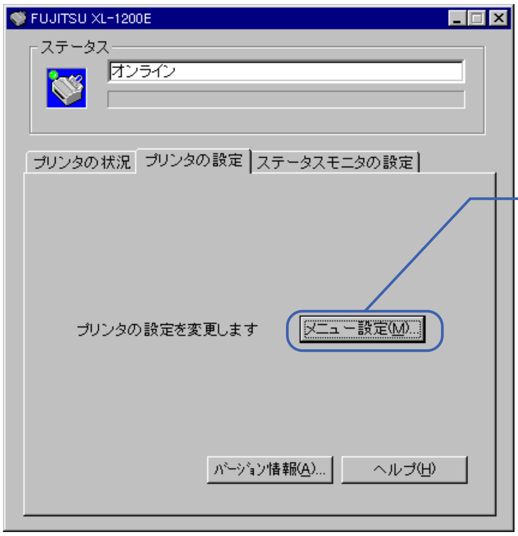


ステータスビットマップ
プリンタの状態をグラフィックで表示します。

詳細メッセージ
プリンタの状態を文字で表示します。エラーが発生した場合は、対処方法も表示します。

●プリンタの設定

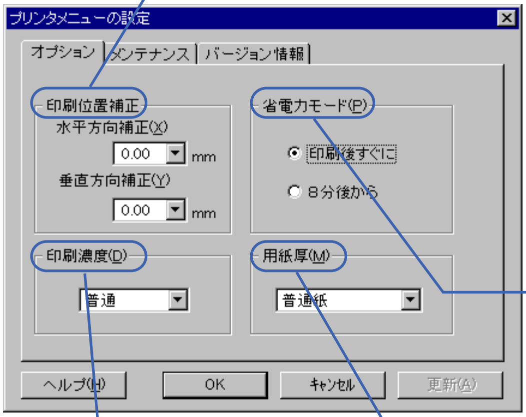
〔メニュー設定〕をクリックして、〔プリンタメニューの設定〕ダイアログを表示させます。〔オプション〕タブでは、省電力モードなどの設定を行います。〔メンテナンス〕タブでは、ドラムカウントのクリアなどを行います。



メニュー設定
プリンタに関する設定を行います。

付録

〔オプション〕



印刷位置補正

プリンタ側で印刷位置をずらしたい場合に設定します。

「水平方向補正」
用紙の短辺方向の調整を行います。0.25mm間隔で-2mm～2mmの範囲で設定することができます。

「垂直方向補正」
用紙の長辺方向の調整を行います。0.25mm間隔で-2mm～2mmの範囲で設定することができます。

省電力モード

印刷完了後、省電力モードへ移行する時間を設定します。

用紙厚

印刷する用紙の厚さを設定します。

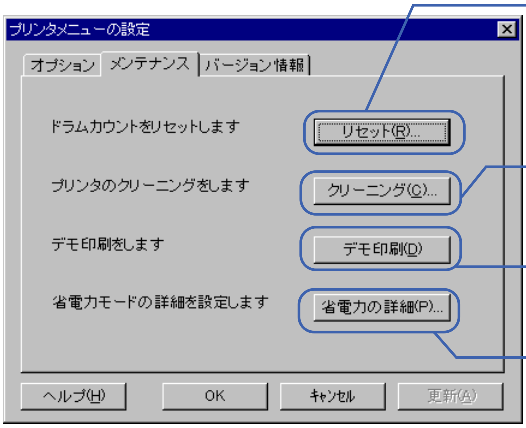
印刷濃度

印刷の濃さを調整します。

MEMO

- **「更新」をクリックせずに他のタブへ移行した場合、オプションタブでの変更は無効となります。**
- **印刷濃度、用紙厚の設定はプリンタドライバでの設定が優先されます。ここでの設定とプリンタドライバでの設定が一致した場合、若干処理が速くなります。通常使う設定にしておくことをおすすめします。**

〔メンテナンス〕



リセット

プロセスカートリッジの使用カウントをリセットします。プロセスカートリッジを交換したときにクリックしてください。（P.62）

クリーニング

プリンタ内部のローラに付着した汚れをとる場合に使用します。（P.65）

デモ印刷

プリンタのテスト印刷を行います。

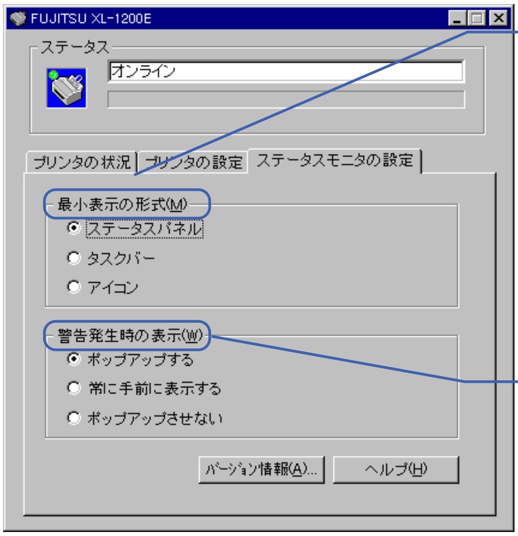
省電力の詳細

省電力モードの有効、無効を設定します。

省電力モードを無効にした場合は、[オプション]の省電力モードの移行時間の設定は無効となります。

●ステータスモニタの設定

ステータスモニタの表示形式を設定します。



最小表示の形式

ステータスモニタを最小化した場合の表示形式を設定します。

「ステータスパネル」
ステータスパネル部分だけが表示されます。

「タスクバー」
タスクバーに格納されます。

「アイコン」
タスクバーにアイコンが表示され、プリンタの状態を表します。

警告発生時の表示

プリンタにエラーが発生した場合にステータスモニタを表示する位置を設定します。

「ポップアップする」
プリンタでエラーが発生すると、最前面に表示されます。

「常に手前に表示する」
常に最前面に表示されます。

「ポップアップさせない」
プリンタでエラーが発生しても、ポップアップ表示はしません。

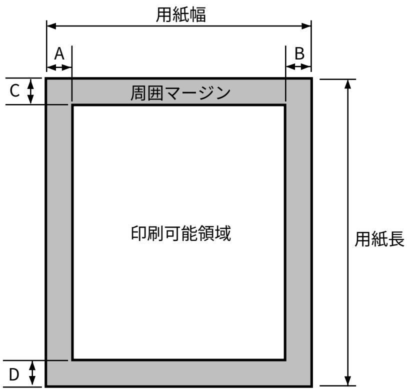
印刷可能領域について

プリンタドライバの印刷可能領域は次のようになっています。

周囲マージン（余白）部分に指定されたデータの印刷結果は保証されません。アプリケーションにより周囲マージンが設定可能な場合は、下記に示すマージンサイズ以上の設定でご使用ください。

（単位：mm）

用紙	用紙長	用紙幅	周囲マージン 注1) 印刷領域の拡張あり		周囲マージン 注1) 印刷領域の拡張なし	
			A,C	B,D	A,C	B,D
A4	297.0	210.0	5.0	5.0	6.35	7.0
A5	210.0	148.0	5.0	5.0	6.35	7.0
A6	148.0	105.0	5.0	5.0	6.35	7.0
B5	257.0	182.0	5.0	5.0	6.35	7.0
フリー　注2)	297.0	210.0	5.0	5.0	6.35	7.0
レター	279.4	215.9	5.0	5.0	6.35	7.0
ハガキ	148.0	100.0	5.0	5.0	6.35	7.0



注 1）〔印刷の向き〕を〔ランドスケープ〕に設定した場合は、A と B の値が入れ替わります。
注 2）この値はデフォルト値です。用紙長 148 ～ 297mm、用紙幅 90 ～ 215.9mm の範囲で設定できます。

注 **アプリケーションによっては、印刷可能領域が小さくなる可能性があります。**

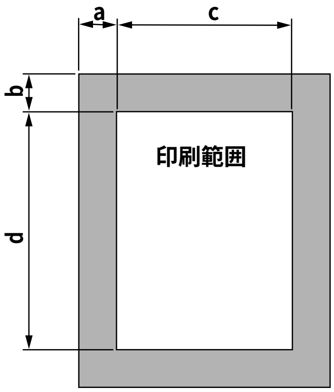
自動低解像度印刷について

600×1200dpi、600dpiで印刷する場合、複雑なグラフィックスや細かな文字を多く使用したページを印刷するとプリンタのメモリが不足することがあります。このような場合、プリンタドライバでは、複雑なページに対して自動的に解像度を下げて印刷するオートマティックフォールダウン機能が働きます。複数ページを印刷した場合、オートマティックフォールダウン機能が実行されるのは複雑なページのみであり、それ以外のページは指定の解像度で印刷されます。

印刷精度について

XL-1200E の印刷位置精度は次の範囲です。

書き出し位置精度（a,b）	± 2.0mm
画像伸縮（c,d）	± 1mm/100mm
用紙の斜行	± 1mm/100mm (用紙フィーダからの印刷時)



用紙厚の調整について

最良な印刷品質を得るためには、用紙厚さに応じた調整が必要です。設定はパソコンで行います。

用紙厚さ	内容
薄い紙	普通紙でしわが出るときに設定してください。
普通紙	普通紙（55kg）
やや厚い紙	厚紙（75kg）
厚い紙	厚紙（75~90kg）
より厚い紙	厚紙（90kg）、ハガキ、ラベル紙
OHP用紙	OHPシート



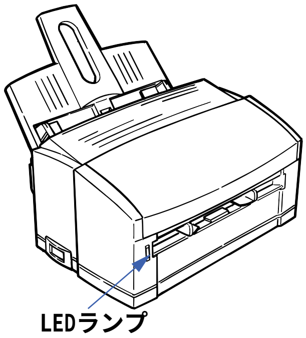
以下の手順で、ドライバのタブ・シートを表示します。

① Windows Meでは、〔マイコンピュータ〕→〔コントロールパネル〕→〔プリンタ〕→〔FUJITSU XL-1200E〕アイコンを右クリックし、〔プロパティ〕を選択します。
Windows 98/95では、〔マイコンピュータ〕→〔プリンタ〕→〔FUJITSU XL-1200E〕アイコンを右クリックし、〔プロパティ〕を選択します。
WindowsNT4.0では、〔マイコンピュータ〕→〔プリンタ〕→〔FUJITSU XL-1200E〕アイコンを右クリックし、〔ドキュメントの既定値〕を選択します。
Windows 2000では、〔マイコンピュータ〕→〔コントロールパネル〕→〔プリンタ〕→〔FUJITSU XL-1200E〕アイコンを右クリックし、〔印刷設定〕を選択します。

② 〔用紙〕タブで〔用紙厚〕を設定します。

LED ランプ表示について

LEDランプ	内　容
点　灯	電源ON
消　灯	電源OFF
ゆっくりと点滅（1秒間に1回）	データ受信中、印刷中、または起動中です。 上記以外の状態でゆっくり点滅する場合は、通信上の問題が生じています。
速く点滅	・アラームが生じています。 ・紙づまりです。 ・用紙フィーダに用紙がありません。 ・カバーが開いています。



用紙について

添付の「用紙について」に、より詳しい注意事項が記載されています。必ずご一読ください。

使用できる用紙サイズと給紙方法

用紙の種類		サイズ 単位：mm(インチ)	給紙方法 用紙フィーダ	手差し	厚さ・備考
普通紙	A4	210×297	○	○	連量55〜90kg（64〜105g/m²）
	A5	148×210	○	○	
	A6	105×148	×	○	
	B5	182×257	○	○	
	レター	215.9×279.4	○	○	
	フリー	長さ：148〜297.0 幅　：90〜215.9	×	○	
ハガキ	官製ハガキ	100×148	×	○	ハガキガイドを使用
OHPシート	A4	210×297	×	○	
ラベル紙	A4	210×297	×	○	

用紙に関する注意

- 熱転写プリンタ用、湿式 PPC 用紙、和紙などの使用はさけてください。
- 薄すぎる用紙や厚すぎる用紙、カット面に凹凸やつぶれ、バリなどがある用紙、切り込みやしわ、反り、角の折れ曲がり、孔などがある用紙は使用しないでください。
- 表面が粗い用紙や、表面に絹目加工（シボ）、浮き出し加工（エンボス）、コーティング加工をした用紙は使用しないでください。
- カールしている用紙や、静電気で密着している用紙は使用しないでください。
- インクに導電材料（金属やカーボンなど）を使用したプレプリント用紙は使用しないでください。
- 両面印刷はしないでください。
- 一度印刷を行った用紙は使用しないでください。
- 用紙フィーダにサイズや質の異なる用紙を一緒に入れないでください。
- 用紙はご購入時、湿気防止のため防湿紙に包装されています。開封後はなるべく早めにご使用ください。
- OHP シート、ラベル紙および A6、フリーサイズの用紙は、必ず手差しで印刷してください。
- ハガキは必ずハガキガイドを使用してください。

注 **用紙を大量にお買い求めになる前に、サンプル用紙でためし印刷をし、支障がないことを確認することをお勧めします。市販の用紙のなかには、本プリンタに適さないものがあります。**

特殊な用紙について

●ハガキ

- 必ずハガキガイドを使用して印刷してください。
- 官製ハガキを使用してください。私製ハガキは保証外です。
- 写真加工のしてあるハガキは使用しないでください。
- 2mm 以上反りのあるハガキ、切手を貼ったハガキは使用できません。
- ハガキ全体に薄くトナーが付着したり、印刷が薄くなることがあります。
- ハガキを連続で大量印刷した場合には、トナーの定着性が低下することがあります。
- 印刷後は 20mm 程度のカールが発生したり、スジがつくことがあります。

● OHP シート

- 必ず手差しで印刷してください。
- 耐熱性乾式コピー（PPC）用またはレーザープリンタ用の OHP シートを使用してください。
- 耐熱仕様でないOHPシートは使用しないでください。（使用するとプリンタが故障することがあります）
- 用紙厚は〔OHP 用紙〕に設定してください。他の用紙厚を設定すると、印刷品位が著しく低下することがあります。
- 用紙全体に薄くトナーが付着したり、印刷が薄いことがあります。

●ラベル紙

- 必ず手差しで印刷してください。
- 耐熱性乾式コピー（PPC）用またはレーザープリンタ用で、紙質は普通紙と同等の用紙を使用してください。
- 部分的に剥離してある用紙、用紙端までのカットラインのある用紙は使用しないでください。
- 用紙厚は〔より厚い紙〕に設定してください。他の用紙厚を設定すると、印刷品位が著しく低下することがあります。

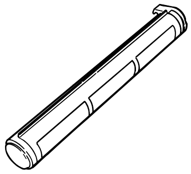
サプライ用品

これらのサプライ用品は本プリンタのご購入元へご相談ください。

注
- **トナーカートリッジ、プロセスカートリッジは必ず純正品を使用してください。純正品以外を使用するとプリンタが故障するおそれがあります。**
- **トナーカートリッジ、プロセスカートリッジは開封後1年以上経過すると印刷品位が低下しますので、新しい消耗品をご準備ください。**

トナーカートリッジ

品名	商品番号	内容
トナーカートリッジ LB106	0881110	トナーカートリッジ LEDレンズクリーナー



●交換の目安

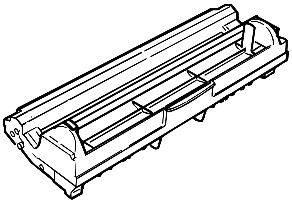
トナーカートリッジ交換の目安は、5%の印刷密度（1ページの印刷可能領域でトナーのついている面積の割合）の場合、A4サイズの用紙で約1,500枚です。ただし、新しいプロセスカートリッジに1本目のトナーカートリッジを取りつけたときは約600枚になります。

●保管方法

- お使いになるまでは、開封しないでください。
- 直射日光をさけ、次の温度、湿度の範囲にある場所で保管してください。
  温度：0～35度、湿度：30～85%RH
- 周囲の温度や湿度が高すぎたり、急激に変化したりする場所はさけてください。
- 幼児の手が届かない所に保管してください。

プロセスカートリッジ

品名	商品番号	内容
プロセスカートリッジ LB106	0881410	プロセスカートリッジ



●プロセスカートリッジの交換の目安

プロセスカートリッジ交換の目安は、A4サイズの用紙で約10,000枚です。ただし、約10,000枚というのは、A4サイズを連続印刷した場合の枚数です。一度印刷するとプロセスカートリッジは空回転をするため、一度に1枚ずつ印刷する場合、プロセスカートリッジの寿命の枚数は約半数になります。

●保管方法

- お使いになるまでは、開封しないでください。
- 直射日光をさけ、次の温度、湿度の範囲にある場所で保管してください。
  温度：0 ～ 35℃、湿度：30 ～ 85%RH
- アンモニアなどの腐食性ガスが発生する場所、空気中に塩分が多量に含まれている場所はさけてください。
- 立てたり、裏返したりしておかないでください。
- 周囲の温度や湿度が高すぎたり、急激に変化したりする場所はさけてください。
- 幼児の手が届かない所に保管してください。

用紙

商品名	商品番号	備考
オフィス用紙W　A4	0411610	500枚×5冊/1ケース
〃　A5	0411630	
〃　B5	0411650	
〃　レター	0411660	
再生オフィス用紙　A4	0414312	
〃　B5	0414342	

本プリンタではレーザプリンタ用紙あるいは乾式複写用紙（PPC 用紙）を使用できますが、より良い印刷品質が得られるよう、上記の推奨紙のご使用をお勧めします。推奨紙以外の用紙をお使いになるときには、試し印刷を行い、印刷品位、用紙走行性に問題がないことを確認されてから購入することをお勧めいたします。

●保管方法

- お使いになるまでは、開封しないでください。
- 直射日光をさけ、次のような場所で保管してください。
  暗く、湿気の少ない平らな場所（例：書棚の中）
  平らなパレットの上
  温度：20℃、湿度：50%RH の環境
- 次のような場所には、保管しないでください。
  床の上に直接置く
  外壁の内側近くや段差、曲がりのある場所
  静電気が発生する場所
  過度に温度が上昇したり、急激に温度が変化する場所
  複写機、空調機、ヒーター、ダクトなどのそば
- 開封後の残りの用紙は、包装紙に包んで水平に保管してください。
- プリンタを使用しないときは、用紙フィーダから用紙を抜き取り、包装紙に包んで保管してください。

プリンタを輸送するとき

使用開始後のプリンタを輸送する場合は、下記の手順に従って再梱包してください。

① トナーカートリッジがセットされたままのプロセスカートリッジをプリンタから取り外し、添付されているポリエチレン袋（黒）に入れます。

② プロセスカートリッジをポリエチレン袋（黒）に入れたまま、プリンタに取り付けます。

③ 用紙フィーダ、ハガキガイドをプリンタから外します。

④ 手差しガイドを中央に寄せます。

⑤ プリンタを再梱包します。

注 **一度使用したプロセスカートリッジ、トナーカートリッジの輸送は、プリンタ内部を汚すおそれがありますので、なるべく避けてください。**

使用済みプロセスカートリッジおよびトナーカートリッジの回収について

富士通株式会社では、地球環境保全への配慮からプロセスカートリッジおよびトナーカートリッジを無償で回収しております。

下記の『エコ受付センター』までご連絡をいただければ、回収便にて引き取りにうかがいます。お客様のご理解とご協力をお願いいたします。

『エコ受付センター』

フリーダイヤル : 0120-30-0693

平日　8:40 ～ 12:00 および 13:00 ～ 17:00

（土曜・日曜・祝日・年末年始を除く）

プリンタの仕様

項目	内容
印刷方式	LED（発光ダイオード）を露光光源とする電子写真記録方式
印刷速度 （連続コピー最大）	約8枚/分*（A4サイズ） *・自動クリーニング動作にかかる時間は除きます。（8枚ごとにクリーニング） ・ハガキ、OHPシート、ラベル紙への印刷では、A4サイズ換算で約6枚/分となります。
メモリ	2MB
解像度	600×1200ドット/インチ
用紙サイズ	A4、A5、A6*、B5、フリー*、レター、ハガキ* *は手差しによる給紙のみ対応しています。
用紙種類	普通紙（55～90kg）、ハガキ、OHPシート、ラベル紙
給紙方法	用紙フィーダによる自動給紙（55kg紙100枚） 手差しによる1枚給紙
排紙方式	フェイスアップ
電源	AC100V±10V
電源周波数	50/60Hz±1Hz
消費電力	定格　450W 印刷時平均　約170W 待機時平均　約 30W パワーセーブ時　約5W
外形寸法	奥行き　201mm　/　幅　324mm　/　高さ　171mm （ただし、用紙フィーダ 、ハガキガイドなどの突起部を除く）
重量	約4.2Kg
OS	Windows 98日本語版、Windows 95日本語版、Windows NT4.0日本語版 Windows 2000日本語版、Windows Me日本語版
インタフェース	IEEE 1284 準拠パラレルインタフェース、USB1.1準拠USBインタフェース
パソコン	IBM PC/AT互換機
使用環境条件	温度 10～32℃、湿度 20～80%RH
標準使用条件	500枚/月
装置寿命	30,000枚または5年

インタフェースの仕様

パラレルインタフェース仕様

◆基本仕様　IEEE1284に準拠した双方向パラレルインタフェース

◆コネクタ　プリンタ側 36極コネクタ(メス)　57RE-40360-730B-D29A(第一電子製)相当
ケーブル側 36極コネクタ(オス)　57FE-30360-20N(D8)(第一電子製)相当

◆ケーブル　IEEE1284に準拠した1.5m以下の双方向パラレルインタフェースケーブルを使用してください。

◆インタフェースレベル
ローレベル +0.0～+0.4V / ハイレベル +2.4～+5.0V

◆パラレルインタフェース信号

ピンNo.	信号名	方　向	機　能
1	Strobe	→PRINTER	データ転送の制御に使われます。
2	Data 1	↔ PRINTER	8ビットのパラレルデータです。 ハイレベルが"1"、ローレベルが"0"です。
3	Data 2		
4	Data 3		
5	Data 4		
6	Data 5		
7	Data 6		
8	Data 7		
9	Data 8		
10	Ack	←PRINTER	データ転送の制御に使われます。
11	Busy	←PRINTER	データ転送の制御に使われます。
12	PError	←PRINTER	データ転送の制御に使われます。
13	Select	←PRINTER	データ転送の制御に使われます。
14	AutoFd	→PRINTER	データ転送の制御に使われます。
15	—	—	使用していません。
16	SG	—	グランド
17	FG	—	シャーシグランド
18	+5V Signal	—	電源（最大50mA）
19～30	-RET	—	グランド
31	Init	→PRINTER	ローレベルが約50μS以上連続すると、プリンタが初期化されます。50μS以下でも有効になることがあります。
32	Fault	←PRINTER	データ転送の制御に使われます。
33	-RET	—	グランド
34	—	—	使用していません。
35	HILEVEL	←PRINTER	プリンタ内部で3.3KΩで+5Vにプルアップされています。
36	SelectIn	→PRINTER	データ転送の制御に使われます。

*：信号名に‾ ‾ ‾のついたものは、負論理信号であることを表わします。

USB インタフェース仕様

◆**基本仕様**　USB 仕様の Revision 1.1 準拠
◆**コネクタ**　プリンタ側　B レセプタクル(メス)
アップストリームポート
UBB-4R-D14T-1(日本圧着端子製造株式会社製相当品)
ケーブル側　B プラグ(オス)
◆**ケーブル**　5m 以下の USB 仕様 Revision 1.1 適合ケーブル
(シールドされているケーブル線を使用してください。)
◆**伝送モード**　フルスピード(最大 12Mbps ± 0.25%)
◆**電力制御**　セルフパワーデバイス
◆**USB インタフェース信号**

ピンNo.	信号名	方　向	機　能
1	vbus	-	電源 (+5V)（赤)
2	D-	-	データ転送用（白)
3	D+	-	データ転送用（緑)
4	GND	-	信号グランド (黒)
Shell	Shield	-	

保守・サービス

プリンタドライバのダウンロードサービス

最新版のプリンタドライバをインターネット上でご提供するサービスです。
下記の手順に従ってプリンタドライバをご入手ください。（2001 年 4 月現在）

ウェブブラウザを起動します。 ▶	**下記アドレスにアクセスします。** **http://www.fmworld.net/product/lib/category/pri.html** ▶	**ご希望のプリンタドライバをダウンロードします。**

アフターサービスについて

- お買い求めの際に販売店でお渡しする保証書は、大切に保存してください。
- 保証書は、日本国内でのみ有効です。
- 無償保証期間は、お買い上げ日より 6 か月です。詳細は保証書をご覧ください。
- 保守部品の供給期間は、このプリンタの製造中止後 6 年です。ご了承ください。
- 分解、改造などをしないでください。無償保証期間内でも、無償修理を受けられないことがあります。
- プリンタのご使用にあたっては、純正のサプライ用品をお使いください。サプライ品以外の用品をお使いになったことによる製品の誤動作、および故障に関しましては、当社は一切責任を負いかねますので、ご了承ください。
- 故障の際は、『ハードウェア修理相談センター』にご連絡ください。

『ハードウェア修理相談センター』

フリーダイヤル: 0120-422-297
受付時間：平日 9：00 ～ 17：00
（土曜・日曜・祝日および当社指定の休日を除く）

持ち込み修理時のお願い

持ち込み修理にあたっては、上記の「富士通パーソナル製品に関するお問合せ窓口」にご連絡ください。

『富士通パーソナル製品に関するお問合せ窓口』

フリーダイヤル: 0120-950-222

持ち込みに際しましては、下記の通りにプリンタを梱包していただきますようお願いいたします。

・プリンタ　：必ずプリンタ本体からプロセスカートリッジ（トナーカートリッジ付き）を取り外して、プリンタ本体のみをお持ちいただきますようお願いいたします。

・取り外したプロセスカートリッジ

：取り外したプロセスカートリッジは、添付されているポリエチレン袋（黒）に入れて、直射日光を避けて保管してください。

・他の添付品　：装置より外した上、保管してください。

注

- **プロセスカートリッジを取り外さずにお持ち込みになりますと、装置内にトナーが飛散することがあります。**
- **修理品の持ち込み時にお客様のお取り扱い不備によりトナーが飛散した場合は、修理に長時間を要する場合がありますので、あらかじめご了承ください。**

ページプリンタ　XL-1200E
取扱説明書

B5WY-0051-02-00

発 行 日　　2001年4月

発行責任　　富士通株式会社

Printed in Thailand